2027

山梨大学 教育学部

Faculty of Education, University of Yamanashi



学校教育課程

教師になろう！

そのために必要とされる本当の学びが、ここにあります。

「なぜ」「どうして」と問うことから学びは始まります。
学校教育課程の授業は、「なぜ」「どうして」という問いと、
発見にあふれています。



教育学部長
長谷川 千秋

MESSAGE

「仲間とともに成長し続ける」

子どもたちの可能性は無限大です。教師は、子どもとともに学び、子ども一人一人の可能性を引き出すことに関わります。子どもの可能性を引き出したり、子どもたちを笑顔でいっぱいにしたり、そんな素敵な先生になれたらいいですね。

山梨大学教育学部には、さなぎが蝶に変態（メタモルフォーゼ）するように、生徒として〈教えられる人〉から、教育者として〈教える人〉への「変態（メタモルフォーゼ）」を促すための、教師の専門性を培うカリキュラムや教職支援が豊富に用意されています。

しかも、学生と大学教員の比率は1:1.3であり、少人数グループワーク型基幹科目をはじめ専門科目の多くが少人数で行われています。学生たちは、教員や学生との対話を通じて自身の学びを深め、専門性を高めることができます。「やまなし小学校教育特別プログラム」は昨年度より「やまなし小学校教育コース」となり、より山梨県の教育課題に対応したカリキュラムになっています。

学校での実践力を身に着ける場として、教育ボランティア、地域学習アシスト、附属学校でのICT支援など、ボランティア活動が広く行われているのも魅力です。

教員採用試験対策も大変充実しており、教職支援室による講座や個別指導のほか、大学教員による個別指導、同窓会による徽典会塾（対策講座）が開かれています。しかし、私たちは教員採用試験合格をゴールとは考えておらず、支援においても主体的に学び続けていける人を育てることを重視しています。

教員、学生同士の温かなつながりがある、この山梨大学教育学部で、あなたも仲間とともに大きく成長してみませんか？









山梨大学 教育学部 2027

Faculty of Education, University of Yamanashi

CONTENTS

- 教育学部長メッセージ …… 1
- 教育学部の特徴 …… 3
- 教育学部での４年間 …… 5

教育学部 学校教育課程

幼児教育コース …… 7
「子どもが好き」のその先へ ― 幼・小の教育者（プロフェッショナル）になろう！

障害児教育コース …… 8
幅広い専門知識と技能を体得し、あらゆる子どもの多様な発達を支援

言語教育コース※
思考・表現・コミュニケーションの基盤となる言語を、幅広い視点から探究
- 国語教育系 …… 9
- 英語教育系 …… 10

生活社会教育コース※
身近な生活から人類共通の課題までを見通す広い視野と実践的指導力を養う
- 社会科教育系 …… 11
- 家政教育系 …… 12

科学教育コース※
理数離れに立ち向かい、自然科学の楽しさを伝える
- 数学教育系 …… 13
- 理科教育系 …… 14
- 技術教育系 …… 15

芸術身体教育コース※
芸術文化や身体運動を通じて、子ども達と歓びを分かち合う
- 音楽教育系 …… 16
- 美術教育系 …… 17
- 保健体育系 …… 18

やまなし小学校教育コース …… 19
山梨県内外の教育課題について広い視野から探究する
- 教職支援室 …… 20
- キャリア・就職 …… 21
- 教職大学院 …… 22
- 入試情報 …… 23

※１年次後期から希望の系に進みます。

学生の学年、卒業生の所属等は取材当時のものです。

山梨大学 教育学部の特徴

豊富な教育実践の場

初年次学校体験・観察実習・教育実習

まず、1年次に観察実習の一部として初年次学校体験活動を行い、授業や休み時間における児童・生徒の様子を観察し、自身が児童・生徒だったころの記憶を呼び覚まします。

2年次の観察実習では、教育実習への導入として先輩が教育実習として行っている授業の様子等を観察・分析することで翌年行う自身の教育実習の具体的なイメージをつかみます。

3年次に、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校のうち、取得したい教員免許状に対応した2つの校種に関して、前期と後期に分け2回教育実習を行います。大半の学生は本学部に近接している附属学校園で行います。本学部教育実習の特徴は、幅広い年齢層の子どもと多く接する機会があることです。









学生 Q&A

教育学部で得た知識を実践でき、大きな学びを得られる場です。



A. K. さん（3年生：甲府南高校出身）

Q1／どこで教育実習をしましたか？

A1／前期は5月30日から甲府市立西中学校で3週間、後期は8月30日から山梨大学附属小学校で3週間実習に行きました。

Q2／教育実習ではどんなことをしますか？

A2／1週目は授業観察などを通して、子ども達への理解を深めていきます。2週目からは指導案を作成し授業を行って、先生方からフィードバックを受け、次の授業に生かします。

Q3／教育実習で一番学んだことは？

A3／授業を上手く進めるためには、休み時間などでの関わりを通して、子ども達のことをよく理解することが大切だということです。

附属学校園

本学部附属学校園（幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校）は、大学から徒歩5分圏内にあり、大学に通学する感覚で実習校に通うことができます。また、大学の授業に附属学校園の先生が参加協力するなど、大学と附属学校園との連携が密接に行われています。

学生は附属学校園における公開研究会への参加や授業見学などもしやすく、教育現場を常に身近に感じることができる環境です。



❶



❷



❸



❹

❶ 附属幼稚園
❷ 附属小学校
❸ 附属中学校
❹ 附属特別支援学校

教育ボランティア

教育ボランティアは、教育者を目指す学生が教育の現場に触れて学びを深めることをねらった活動です。

活動の内容は、授業中や放課後の学習指導補助や、学校行事・部活動の指導補助、障害のある児童生徒の支援などです。この活動は「社会参加実習」という科目で単位化されており、30 時間の参加で1単位となります。

毎年、約200人の学生が参加しています。子どもと関わることで、教育者として必要なこと、大切にすべきことに気づくことができます。教育ボランティアは社会貢献であると同時に「自己を発見」する機会にもなっています。









学生 Q&A

中学生が教えてくれた“学びを支える”未来像



S. F. さん（3年生：甲府西高校出身）

Q1／どんな教育ボランティアに参加し、どのような活動をしていますか?

A1／中学校で数学の学習支援を主に行っています。授業中困っている生徒に個別にアドバイスしたり、休み時間に生徒からの質問に答えたりしています。また、部活動など、放課後の活動の支援も行っています。

Q2／教育ボランティアに参加してみてよかったことを教えてください。

A2／一番の利点は、実際に現場で先生として活動する経験を得られることだと思います。実際に教員として働くことの大変さやそれ以上のやりがいを感じることができ、将来自分がどんな教員になりたいかをより具体的に思い描くことができるようになりました。

Q3／教育ボランティアで一番学んだことは?

A3／生徒と一緒に学びを深めていく教員の姿勢について学びました。実際に授業に参加して、教員は「教える人」ではなく「生徒の学びを支える人」なのだと感じました。生徒がよりよく学び、成長していくために教員として何ができるのかを、今後の授業やボランティアの活動で考えていきたいです。

２つの教員免許状を取得

本学部では、卒業に必要な単位（卒業要件）を取得することにより、教員になるために必要な教員免許状を取得することができます。小学校教諭の免許状と、コースや教科によって、もう一つ異なる校種（幼稚園、中学校、特別支援学校）の免許状（主免）を取得することになります。卒業要件で２つの免許が取得できることは、本学において幅広い教育能力を取得した証と言えます。

言語教育コース、生活社会教育コース、科学教育コース、芸術身体教育コースでは、１年次後期開始時までに自分の意思で主とする免許状の教科を決定します。必要単位を取得することで、各教科の高等学校教諭の免許状も取得可能です。

また、自分のコース・系に関わらず、時間割上、必要な科目が履修でき、単位が取得できれば他の教科の免許状（副免）も取得可能です。多種多様な教育機会に臨むことができる本学部のカリキュラムを通して、このように複数の免許状に出会うことができます。

卒業要件で取得する免許状	小学校教諭一種	小学校教諭二種	中学校教諭一種	中学校教諭二種	特別支援学校教諭一種	幼稚園教諭一種	幼稚園教諭二種
幼児教育コース	①	②				②	①
障害児教育コース	①				①		
言語教育コース	①	②	②	①			
生活社会教育コース	①	②	②	①			
科学教育コース	①	②	②	①			
芸術身体教育コース	①	②	②	①			
やまなし小学校教育コース	① ②			①	②		

各コースにおいて、卒業要件で取得する免許状は①の組み合わせの２つか、②の組み合わせの２つかを選びます。

• 所定の単位を取得すると学校図書館司書教諭の資格（教員免許状取得が条件）、日本語教員養成プログラムの修了証も取得可能です。

少人数教育でキメ細かいサポート

教員１名に対し、学生が1.5名での指導体制で教育を行っています。

少人数グループワーク型基幹授業群によって、教育者に変化・成長していく力、そして教育者として学び続ける力をつけることができます。

１人の教員が100人以上の学生を対象に行っていた従来型の講義を、専門の垣根を越えた５人以上の教員が共同で担当する少人数グループワーク型授業へ転換し、これを中軸にカリキュラム全体を体系化しました。教育や保育などの様々な現場の参観と考察、小・中学校などの授業の観察と分析、模擬授業の実施と省察、教育に関する今日的な課題の検討などを経験することができます。

様々な学問分野の教員が揃っており、豊富な専門科目を提供しています。



教育学部の教員と学生の比率は **1対1.3**

専門科目は **少人数**

学生 Q&A

N. K.さん
（3年生：厚木東高校出身）

Q1 ／**あなたの受講している少人数授業の科目名、及び受講者人数は？**
A1 ／数学セミナーⅡという専門科目で、受講者は５人です。

Q2 ／**少人数授業の様子は？（一般の授業と比べての違いなど）**
A2 ／先生が講義するのではなく、自分で勉強した内容を他の受講生に発表し、議論するというかたちをとっています。

Q3 ／**少人数授業を受講してみて良いところを教えてください。**
A3 ／一人一人の発表の機会をしっかり確保でき、その発表に対して、先生から意見を頂くことや、学生同士で話し合いながら、学び合える点です。

手厚い教職支援

- １年次から進路に関する個人面談を行い、一人ひとりに進路の聞き取りを行っています。
- 学校等での教育ボランティア活動を企画し、学生が子どもと接し、子どもへの理解を深める機会を作っています。
- 教員採用試験対策講座や個別指導を高頻度で行い、教員採用試験合格をサポートしています。

教職支援室における個別指導（2024.10〜2025.9）

総指導回数		指導人数		1人あたりの回数
2251回	÷	114人	＝	20回

教職支援室は、教員をめざす学生のために教員就職を手厚くサポート、バックアップしています！



先輩からの声

○指導がとても丁寧でわかりやすく、また継続的にみてもらえたので自分の力の伸びを実感できました。

○先生方のアドバイスや励ましのおかげで、教師になりたいという気持ちが強くなりました。

○進路について相談したとき、教師の魅力を十分に教えてもらい、はっきりと目指すことができました。

山梨大学 教育学部での４年間

１年次



１年次には、まず、教育学部としての初年次教育があります。心理学や教育原理などを学ぶ教職に関する科目、「国語」や「算数」など小学校・中学校の教科に関する科目（初等○○科教育学や○○科内容論※）、そして、各コース・系の基礎科目を学びます。これら以外にも全学共通教育科目によって、人間形成に関すること、英語やその他の語学、さらに人間と文化・環境と人間・産業と社会・平等と公正の４つのテーマにわたる学術科目などを学び、知識、視野を広げます。教職に関する関心を向上させ、自分の将来に向けて、大学で学ぶ基礎体力をつける期間になります。自分の志望する系を決めるのも１年次です。

※ ○○には教科名が入ります。



学部入門ゼミ／教育の現在

「学部入門ゼミ」は大学での生活・学修の基本的なオリエンテーションを行い、一般教養を含めた大学でのより高度な専門的知識を修得するために必要な基本的知識および基礎的な技能を学ぶものです。コースごとに開講され、それぞれの特徴を踏まえ、将来教員になるための意識づけも含め、大学での基礎を学びます。

「教育の現在」は、教育の本質を歴史、環境、文化などの視点から理解することを目標とした科目で、学校以外の教育現場の訪問や、実務経験のある講師からの講義などがあります。多様な教育現場に関する議論や発表を少人数グループに分かれて行う基幹科目の一つです。

２年次



２年次からは各コース・系の専門科目が本格的に始まります。専門的な内容のより深い理解は、実際に教壇に立ったときの「自信」につながります。

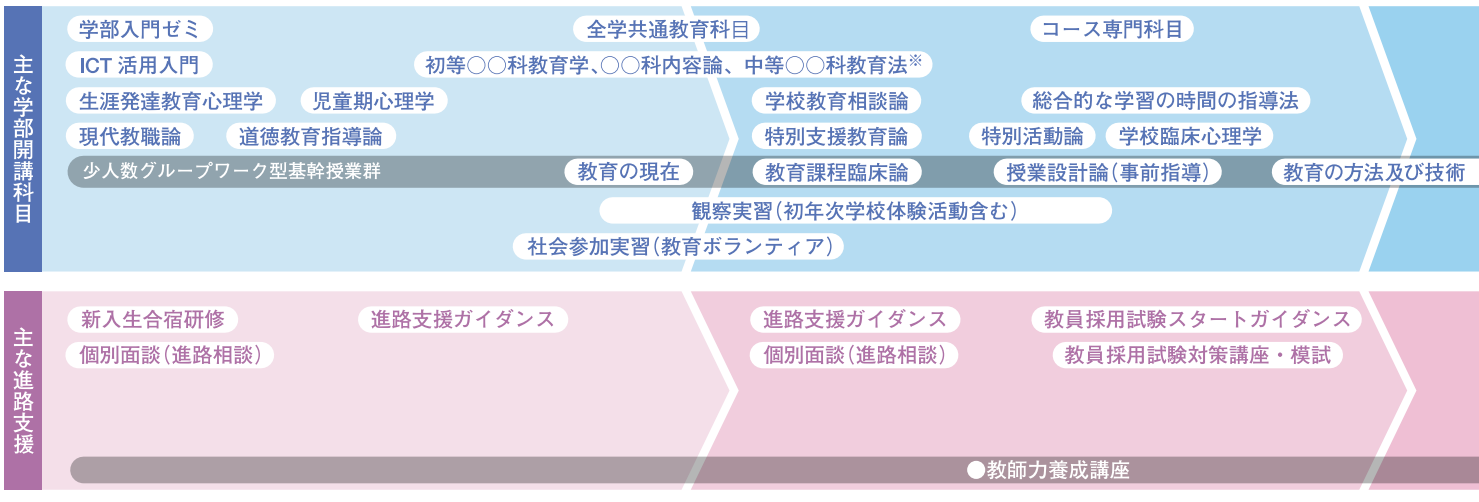
教職についての科目も特別活動や授業設計、授業分析などの内容を深く学びます。また、３年次に行う教育実習の準備として、先輩が行っている実習を見に行く観察実習も２年次の重要な科目です。実際の教育現場を見て、自分の１年後を想像しながら、これまでの教育学部での学びを振り返りつつ、専門科目や教職科目を学んでいきます。３年次に発揮したい実践力の土台を作る期間として、２年次を過ごします。



教育課程臨床論／観察実習

「教育課程臨床論」は、学校教育における教育課程の編成および実現の過程を学校現場の具体的事例を取り上げながら理解し、教育課程の意義や編成方法などを考える科目です。教育課程の編成に関する教師の仕事の実際に触れながら、これまで自分が受けてきた教育を再考し、教育をする側からも考えられるようになることを目指します。これも少人数グループによる基幹科目です。

「観察実習」では３年次の教育実習の準備の一つとして、先輩実習生の授業を観察し、分析します。どのような視点で先輩の授業を見たら良いかから始まり、観察した授業について、担当教員・同級生とその内容や手法について議論します。



※ ○○には教科名が入ります。

3 年次



3 年次には、教育実習（前期･後期）があります。この実習および事前・事後指導を通して、教職に対するより実践的な力を身に着けます。小学校・中学校の教科に関する科目（初等〇〇科教育学や〇〇科内容論）も３年次までに単位の修得を完了させます。専門科目もより本格的になり、多くのコース・系で卒業研究に向けた研究室配属が行われ、自分の選んだ専門分野･テーマについて、研究をスタートさせます。自分で課題を見つけ、それを解決する手段を考える力も、教育現場での実践力につながります。また、卒業後の進路に向けて具体的な対策を始め、支援を受ける時期でもあります。



教育実習（前期・後期）

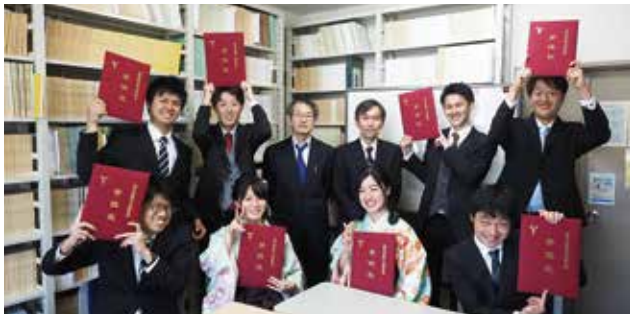
本学部では、卒業要件で２つの教員免許状（小学校＋もう１つ）を取得します。そのため、取得する２つの免許に応じた教育実習があります（前期と後期の ２回）。幼稚園から中学校、特別支援学校まで、多様な子どもと接する豊富な実践の場で幅広い教育力を育みます。

これまでの教職に関する授業、教科教育法や大学での事前指導を踏まえ､実習に臨みます。実習校の担当教諭の指導､同級生とチームを組んでの検討、大学に戻っての事後指導で、自分自身の教員への目標意識を高め、授業力を磨くことができます。近接する附属学校園や市内の公立学校での実習となります。

4 年次



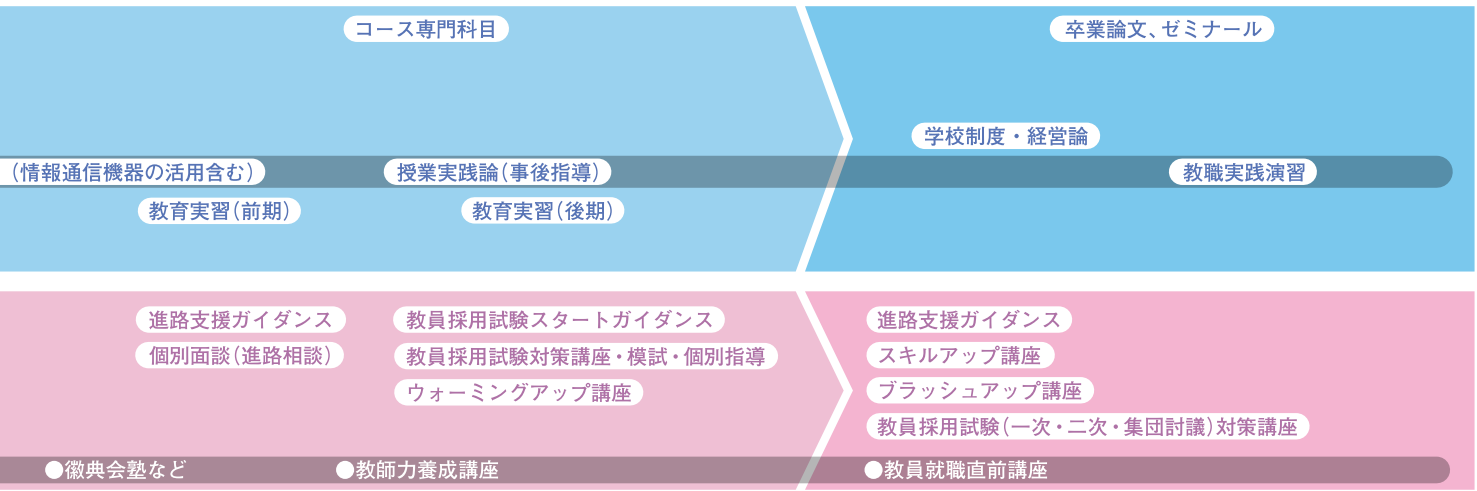
４年次は教育学部での学びの総まとめを行う１年になります。卒業論文の作成やゼミナールを通して、それぞれの専門分野・テーマについての研究をまとめます。教職についての科目も理論・実践と総合的な力をつける内容です。多くの４年次生が、同級生と一体となって、教員採用試験の準備に励み、教職支援室などのサポートのもとで実際に受験します。また、４月から教壇に立つ学生に向けた教員の実態や心構えなど実践的な内容の教員就職直前講座があります。卒業時には本学部での学修によって高い教育力・実践力・教科の力をつけた教員として踏み出します。



教職実践演習／卒業論文、ゼミナール

「教職実践演習」は本学部で学んだ教職・教科に関する様々な知識と教育実習等で得られた実践的指導力との統合を図りながら、教師としての資質の総合的な向上を目指すためのまとめの科目です。実務家教員による現在の教育現場の問題点の講義とそれに対する少人数グループでのディスカッションを中心とした基幹科目の１つです。

「卒業論文、ゼミナール」は大学での学びの総決算です。自ら選んだ研究テーマ（教育に関するもの､教科に関するもの）について、問題発見・解決およびその考察をまとめます。この過程で得る力は社会において非常に有用となります。



幼児教育コース

取得免許（卒業要件）

小学校一種 ＋ 幼稚園二種
または
幼稚園一種 ＋ 小学校二種

学生が近年取得したその他の免許

特別支援学校一種 など

コース紹介詳細は Webページへ

「子どもが好き」のその先へ―幼・小の教育者（プロフェッショナル）になろう！



このコースでは、子どもの発達や教育に関心があり、幼児期・児童期の子どもの教育に情熱を持った学生を求めています。

子どもが好きという皆さんの気持ちを大切にしながら、子どもと対話し、その思いや願いに寄り添う教育者になれるような専門的なカリキュラムを用意しています。子どもの発達、子ども理解の視点、保育・教育の内容と方法、環境、思想、歴史、社会的背景、国際的動向、制度・政策の現状と課題などについて、教員と学生がともに、対話を通して広く深く学びます。また、教育実習の他に、コース独自の科目である「継続観察実習」等で、附属幼稚園をはじめ様々な園で継続的に実践を学ぶ機会があります。

卒業生は、幼稚園や小学校教諭を中心に、保育士その他子どもの育ちに関わる仕事に就いています。

● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

幼児教育コースでは、幼稚園教諭免許状と小学校教諭免許状の両方の取得が卒業要件となります。そのために、教養教育である全学共通科目、各教科の内容を学ぶ教科専門科目、教職に関わる知識や技術を学ぶ教職専門科目などを履修します。コースの専門科目では、これらを発展させ、教員と学生が対等に議論しながら、教育学・幼児教育学・発達心理学について専門的かつ横断的に学び、これからの教育を探究します。

●主な授業科目　※授業科目名は変更になる場合があります。

1年次	2年次	3年次	4年次
幼児の発達理解とカウンセリングマインド 保育実践演習Ⅰ 保育・幼児教育制度論	保育内容総論 継続観察実習 幼小発達教育基礎論 保育内容（各種） 保育実践演習Ⅱ	保育思想演習 教育方法学演習 教育思想演習 発達心理学演習 現代の教育課題を考える	保育思想研究 教育方法学研究 教育思想研究 発達心理学研究

継続観察実習



この授業では、附属幼稚園での継続的な幼児観察と、その記録に基づくディスカッションを通して、子ども理解を深めるとともに、保育者の見取りと保育実践のつながり・カリキュラムのあり方について理論的・実践的に考えます。３年次の教育実習への準備にもなっている、本コースだけのオリジナルな専門科目です。

現代の教育課題を考える



この授業では、保育・教育の現代的な研究課題について学びます。教師になるための技術や知識を覚える学びから、社会や人間のあり様へと視野を広げ、そこで行われる保育・教育について、学生と教員の対話的な学びを通じて、自身の関心にひきよせて考え、調べ、追求する学びへと扉を開く科目です。

MESSAGE

学生メッセージ ― 3年生 A. S. さん（甲府第一高校出身）

子どもたちに寄り添うために、私たちと一緒に学んでいきませんか？



子どもはとてもかわいらしくて、私たちに元気をくれます。大学で学ぶ中で、子どもたち1人1人に寄り添うために、まず子どもたちの思いを知ろうとすることが大切だと感じました。その難しさを感じることも多いですが、幼児教育コースではディスカッションや実践の機会が多く、一歩一歩成長できていると感じています。少人数のコースなので、ディスカッションでは自分の考えを言いやすいです。私たちと一緒に少しずつ学んでみませんか？

教員メッセージ ― 岩井哲雄 先生（専門分野：教育哲学）

学生の成長と夢の実現を応援します。



本コースは、大学内での学びはもちろん、大学外でも地域の教育・保育に触れる機会を積極的に設けるなど、少人数であることを活かした教育に力をいれています。コース教員の専門も多彩なので、大学に入学し様々な知的な刺激を受けながら自己を確立していくためには最適な環境にあります。日頃の学習活動から卒業研究の指導、就職に関する指導・助言まで、みなさんの自己実現を全力で支援します。

研究紹介❶



高橋 英児

～研究テーマ～
子どもたちを現在および未来の生活の主体・主権者として育てる教育

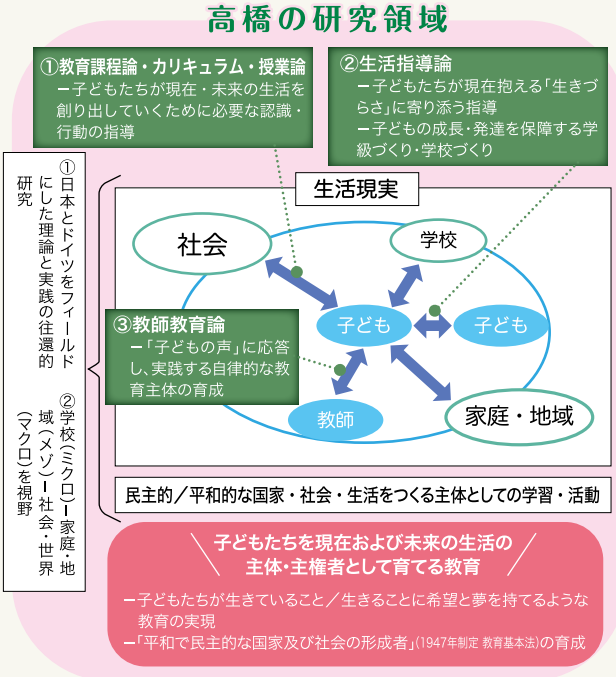
高橋 英児　Takahashi Eiji
小学校では落語家、中学校では変身ヒーロー、高校では妖怪研究家を志し、紆余曲折の末に現在に至る。子どもだけでなく大人を育て、社会をも育てる営みである教育に魅力を感じ、研究している。

子どもと共に教室から平和な世界を創造する

研究テーマは、子どもたちを現在・未来の生活の主体・主権者として育てる教育です。「平和で民主的な国家及び社会の形成者」(1947 年教育基本法)の育成という戦後教育の理念の実現を目指し、カリキュラム・授業づくりから、日常の学級指導(集団づくり)・生活指導まで幅広く研究の対象にしています。

子どもたち一人ひとりが生きることへの希望と夢を持ち、それらの実現をめざして自分たちの生活現実を変革していく力を育てるための具体的な教育の方法を追究しています。大人と子どもが一緒になって教室から平和な世界を創造していく教育の実現と、そのために子どもの声に応答し、子どもと共に成長し続ける教師の育成が、私の研究の究極の目標です。

高橋の研究領域



研究紹介❷



秋山 麻実

～研究テーマ～
探索的保育・教育学

秋山 麻実　Akiyama Asami
「子育てや低年齢の子どもの「先生」は、なぜ女性が多く担うのか」という疑問が、研究のきっかけ。現在は、保育者が安心して自分の経験を話せて、力がつくような研修のあり方を研究している。

大人も子どもも広く深く楽しく「探索」できる教育を

私たちは「苦しくても頑張った」ことに価値があると思いがちです。

でも本当は、「苦しくなくて頑張れる」こともあるし、「苦しくてやめちゃった」人も幸せになる権利があります。仲間を探して「なぜ苦しく感じるのか」を話し合ったら、世の中の方がおかしいと気づくこともあります。

私は、保育の中で、子どもも保育者も、そんないろんな選択ができるといいと思っています。特に、保育者が広く、時に深く、探索(explore)するために、話しながら記録を書く、子どもを擁護する意見や大人を擁護する意見を交換する、自分たちの状況や社会の問題に目を向けるなどの方法を試しています。

今、世界的にも保育者を力づける研修のあり方の工夫が蓄積されてきていて、そうした状況を取り込みながらよりよい方法を模索したいと考えています。

秋山の活動・研究のイメージ


参加者の意見を共有


保育者の実践研究


園内の話し合いの流れ

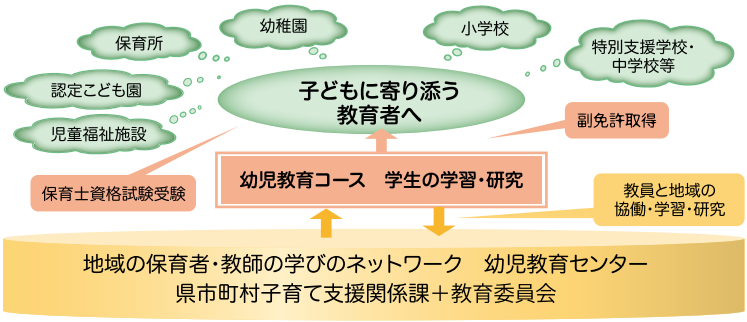

どこの国から来たの？

学生の成長と進路

保育士資格について



本学は指定保育士養成施設ではありませんが、幼児教育コースでは、在学中に保育士試験を受験することで、卒業時には幼稚園教諭免許状と小学校教諭免許状に加え、保育士資格を取得している学生が多数います。そのため、本コースの卒業生は、幼稚園と小学校だけではなく、保育所、認定こども園、放課後児童健全育成事業、児童養護施設など、子どもと関わる様々な現場で活躍しています。



障害児教育コース

取得免許（卒業要件）

小学校一種
＋
特別支援学校一種

学生が近年取得したその他の免許

中学校一種（各教科）など

コース紹介詳細は Webページへ

幅広い専門知識と技能を体得し、あらゆる子どもの多様な発達を支援

障害児教育コースでは、障害のある子どもをはじめとする、あらゆる子どもの多様な発達を支援できる特別支援学校教員の育成を目指しています。

一人一人の教育的ニーズに応えるために、子どもの発達援助に関する専門的な知識や技術をもった教員を小学校などに送り出すことも目指しています。専門科目では、障害のある子どもの教育課程や授業論、発達アセスメントや発達援助法等について、教育学・心理学・生理学等に関する講義や演習、実験、実習を通して専門的・系統的に学びます。

卒業と同時に特別支援学校一種と小学校一種の教員免許状を取得することができますが、その他、学生個人の進路計画によりそれ以外の教員免許状を取得することもできます。



● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

1年次は、特別支援教育に関する基礎知識や障害の概念について学びます。2年次から知的障害・肢体不自由・病弱を中心に、発達障害や視覚障害、聴覚障害、重複障害、その他特別な支援を必要とする子どもとその支援の在り方について学びを進めます。3年次にはこれまでの学びを土台に、障害のある子どもを観る視点や発達を援助するための教材について演習科目や教育実習を通して理解を深め、特別支援教育に関する専門性を高めます。

●主な授業科目

1年次	2年次	3年次	4年次
特別支援教育の基礎 I・II	知的障害児教育課程論 知的障害児心理学 肢体不自由児心理学 病弱児指導法 重複障害児教育概論 特別支援教育指導法	障害児教育学演習 I・II 障害児心理学演習 I・II 障害児教育研究法 障害児教育教材研究 発達障害児教育概論	卒業研究の主なテーマ 知的障害・肢体不自由・病弱および発達障害などを対象とした、教育学・心理学・生理学に関する研究（フィールドワークや実験、観察など）

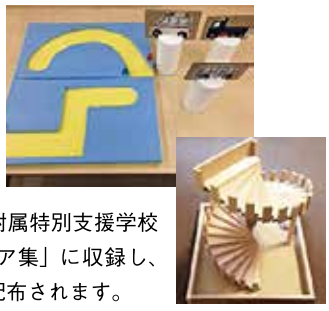
知的障害児教育課程論

知的障害のある子どもが通う特別支援学校の教育課程について学びます。「日常生活の指導」や「各教科等を合わせた指導」など特徴のある教育について、実際の学校場面でどう展開されているかを視聴して話し合ったり、学生自らが実際に指導案を作成して模擬授業をしたりして、実践力を高めていきます。



障害児教育教材研究

子どもの状態に合わせた教材教具を、これまで学んできた特別支援教育に関する理論や実習経験をもとに作成します。また、子どもが楽しめる教材作成を通して障害に関する理解を深めます。作成した教材教具は、附属特別支援学校が発行する「教材・教具アイデア集」に収録し、特別支援学校や小学校の先生に配布されます。



MESSAGE

学生メッセージ ― 4年生 N. H. さん（富士河口湖高校出身）

分からないことを分かるまで、できないことをできるまで、繋がりの強さによる深い学び

本コースのよさは少人数制を活かした繋がりの強さ。実習や教員採用試験など、様々な不安もありましたが、先生はもちろん、親身に相談に乗ってくれる先輩や高め合える仲間の存在により、不安ゼロで大学生活を送ることができました。不安を自信に変えることができる。障害児教育コースは、そんな素敵な場所です。



教員メッセージ ― 吉井勘人 先生（専門分野：教材教具論）

一人一人の子どもに寄り添い、子どもから学び、チームで子どもの学びを支える教育

現代は、人々の多様な在り方を互いに認め合い、誰もが共に生きるインクルーシブ社会を目指しています。障害児教育では、障害のある子ども一人一人の尊厳を大切にし、その子どものよさや可能性を最大限に引き出すことを目指して、チームによる教育を行います。「教育の原点」と呼ばれる障害児教育を学んでみませんか。



研究紹介❶

～研究テーマ～
病弱児心理学



病気の子ども自身と子どもを支える人たちの気持ちを慮る。

川池 順也

川池 順也　Kawaike Junya
大学卒業後、およそ20年にわたり東京都の特別支援学校の教員として勤務。主に病気のために入院と治療を必要としたり自宅で学習に臨む子どもたちのICTを活用した教育支援に携わってきた。教員として勤務の傍ら博士（教育学）を取得。

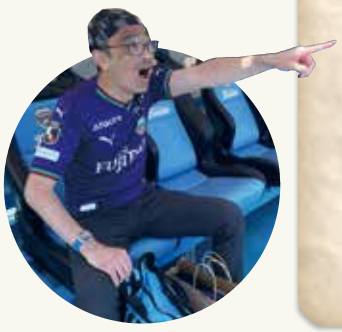
みなさんは「病気がある子ども」と聞くと、どのようなイメージをもつでしょうか？

かぜ・インフルエンザなど身近な病気をはじめ、入院による治療が必要な子どもなど様々だと思われます。

病気の子どもの支援に携わるには、病気そのものについて正しく理解すると同時にその病気のために子ども自身がどのような心境にあるのかを支援者が慮ることが大切になってきます。

例えば「吃音」という発話障害がある子どもは、約100から120人に1人いるといわれています。正しく周囲の理解がないと、流暢に言葉が出てこないというだけで、からかいやいじめの対象になり、深くその本人の心を傷つけることになりかねません。また、吃音がある子ども本人にとっては、「話そうとしていても、その言葉が出てこない」状態なので、支援者が「リラックスして」と良かれと思った言葉掛けなのに、本人にとって反対に話すことへのプレッシャーになることもあるのです。

このように病気がある子どもの様々な疾患について理解すると同時に、病気の子どもの心境がどのような状態にあるのかを慮り、どのような手立てが寄り添うために大切であるのかを、みなさんで意見交換をしながら進めることを講義では大切にしています。





アドバイスしない
緊張していて吃っているわけではないので、「リラックスして」「ゆっくり話せばいいよ」とアドバイスしないでください。

真似しない
吃音があっても一生懸命話します。からかったり、真似しないでください。

研究紹介❷

重度重複障害がある子どもの意思伝達について

重い病気があるために手足を自分の意思通りに動かすことが困難な子どもがいます。直近では、人間が自分の意思で動かすことができる残存機能は、視線や脳波であり、その活用で意思表示が可能となると研究が進められています。講義では、実際に重度重複障害がある子どもの学習活動や心理的支援を学んだ後、希望があるみなさんと一緒に視線入力を使った子どもの支援を行っている神奈川の放課後等デイサービスに見学に行く機会も設定しています。そこで、実際に子どもと触れ合ったり視線入力装置の体験をさせて頂いたりしています。





言語教育コース 国語教育系

取得免許（卒業要件）

小学校一種 ＋ 中学校二種（国語）
または
中学校一種（国語） ＋

学生が近年取得したその他の免許

高等学校一種（国語、書道） など

コース紹介詳細は Webページへ

あらゆる観点から国語教育をとらえ、追究する

国語教育系では、学校で学ぶ「国語科」にまつわるさまざまな問題を追究します。そのために、日本語学、日本文学（古典・近代）、漢文学、書写・書道、国語科教育学、日本語教育学など幅広い分野の学習・研究を通して考えていきます。

３年次からは、一人一人が関心のある分野について深く研究し、卒業論文に取り組んでいきます。それぞれの分野のスタッフがそろっていて、きめ細かい指導が受けられることが国語教育系の「強み」です。卒業生の多くは、小学校、中学校の国語の免許だけでなく、高校の国語や書道の免許も取得しています。また、大学で培った教科の専門性を生かして、小学校、中学校国語、高校国語の教員として、教壇に立って活躍しています。



● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

一年生では全学共通科目を中心に、学部入門ゼミ等の学部共通科目、初等国語科教育学など小学校の教科教育学を履修します。二年生では国語学、日本文学（古典・近代）、漢文学、書写書道等の専門科目に加え、中等国語科教育法を履修、更に国語教育の演習もスタートします。三年生からは専門科目の演習に加え、各自一つの研究法（卒論ゼミ）を履修します。四年間を通して、専門的力量をもった国語教員の基盤を養います。

●主な授業科目

１年次	２年次	３年次	４年次
学部入門ゼミ	中等国語科教育法	国語学演習	国語学研究法
初等国語科教育学	国語学概論	古典文学演習	古典文学研究法
日本語教育概論	日本古典文学史	近代文学演習	近代文学研究法
	日本文学概論	漢文学演習	漢文学研究法
	漢文学概説	書道科教育学	書写･書道研究法
	書写演習	国語科授業開発演習	文学教育研究法

中等国語科教育法

中学・高校の国語科の授業づくりについて学びます。生徒が授業を通して、言葉について考え、言葉の世界の魅力や奥の深さを感じとれるようになるために、教師がすべきことを考えます。教材価値を生かす教材研究や、多様な考えを引き出し、深めるための授業の展開、発問の在り方について、意見交換しながら考察していきます。



国語学演習

平安時代の説話『今昔物語集』を題材に、ことばの意味の変化や当時の使い方について、学生が調べ発表する授業です。今と変わらないように見えることばが、実は平安時代には全く違う意味・文脈で使われることがあります。気づかなかったことに立ち止まり、調べていくことで、作品の魅力に気づけるようになります。



MESSAGE

学生メッセージ 3年生 M. F. さん（静岡県立三島北高校出身）

日々楽しく国語について学べる環境！

国語教育系では、教育学・文学・書写をはじめ国語を形成する幅広い専門的な分野を深く学びながら、教材研究や模擬授業等の実践がしっかりとできる充実した環境が整っています。また、先生方のサポートが手厚く、先輩や同じ目標を持つ同級生から刺激をもらえます。国語について学ぶうえでここは最高の環境だと思います。ぜひ一緒に学びませんか。



教員メッセージ 清水文博先生（専門分野：書写書道教育）

さまざまな対話を通して 自分と向き合ってみましょう。

書道では、昔の書を見て書くこと（これを臨書と呼んでいます）により、古人と対話しているような感覚になることがあります。教員を目指すにあたっては、自己や他者等とのさまざまな対話があると思います。手で書くことによって対話し、自分と向き合うことを書写書道の学びを通して考えてみましょう。



研究紹介❶

齋藤 知也



～研究テーマ～
国語科教育学
文学教育を中心とした「読むこと」の教材研究と授業づくり

齋藤 知也　Saito Tomoya
中学校・高等学校の国語科の専任教諭としての授業経験を生かし、これからの学校教育を担う教員を目指す学生と、国語の授業の可能性を共有し、更に追求していきたい。

世界、他者、自己を問い続け、発見・創造する〈言葉の教育〉

言葉は、伝達のための道具としてのみ、あるわけではありません。言葉の本質は、私たち人間が、世界、他者、自己を認識するとき、既に言葉が介在していることにあります。

児童・生徒は、その言葉で、世界を学び、他者を認識し、表現するのです。よって、「どのように語られているか」「どのように語るか」が、大きな問題になります。言葉が溢れているといってもよい時代のなかで、語りに着目し、吟味することの重要性は、より増しています。その際、文学は高い教材価値を持っています。

私は、「読むこと」の領域を中心として、「言葉とは何か」「語るとはどういうことか」を考える〈言葉の教育〉の在り方について、学生のみなさんと共に研究し、学ぶ価値の実感できる小・中・高の国語科の授業づくりに寄与できるように取り組んでいます。

国語科教育を、「言葉とは何か」「対象を言葉で捉えるとはどういうことか」「言葉では捉えられない「他者」の領域とどう向き合うか」「語るとはどういうことか」などを考える〈言葉の教育〉として位置づける。

世界、他者、自己を問い続け、発見・創造することを可能にする「読むこと」の授業

「語り」や「他者」の問題に着目した文学的文章の授業	観点、論理の展開などに着目した説明的文章の授業	昔の言葉が見せる世界から現代の在り方を考える古典の授業
小説・物語・詩歌・随筆など	記録・説明・論説・評論など	古文・漢文など

「読むこと」における「言葉」の発見と獲得は、**「書くこと」や「話すこと・聞くこと」**にも生きていく。

児童・生徒にとっての学ぶことの価値や、教師にとって教えることの意味が、実感できる授業づくり（教材価値を創造する**教材研究**、多様な意見を引き出し、理解や思考を深める**学習課題や発問の構想**）

研究紹介❷

長谷川 千秋



～研究テーマ～
日本語の文字・表記の歴史

長谷川 千秋　Hasegawa Chiaki
学部生の時に国語学の講義を聴き、ことばが変遷していく様に興味を持ったことが研究者を志すきっかけになりました。研究で培った方法論や恩師との出会いは、研究に止まらず、私の生き方の指針にもなっています。

ことばを通して、ことばの文化や人の生き方を見つめる

国語学の中で、日本語の仮名表記の歴史を研究しています。平安時代に「かな」が成立しましたが、奈良時代までの極めて合理的な表記システムである「万葉仮名（真仮名）」がなぜ「かな」に置き換わる必要があったのか、資料的な制約もあり研究上分かっていないことが多くあり、その謎を解く研究をしています。また、平安時代に、神楽歌などの楽曲や歌のリズムを、仮名だけでどのように表現しているかという研究もしています。

私がこうした研究に興味を感じているのは、文字を書き残した昔の人たちがどのような思いでその文字を綴ったのか、そこにどのようなことばの文化があったのか、その当時の人たちの思いや文化に迫りたいと思うからです。ことばを通して人と関わっていければと思っています。

同一行に、かなと真仮名が混在する合理的な理由はあるのか？



教職支援室・Instagram に私の授業風景を載せていただきました。
https://www.instagram.com/reel/DC77InqyM1d/?utm_source=ig_web_copy_link&igsh=MzRIODBiNWFIZA==

研究紹介❸



日本語教員養成プログラム
～日本語教育を学んで世界とつながろう！～



「日本語教員養成プログラム」は、日本語教育を学ぶ副専攻のプログラムです。グローバル化していく現代社会において、国際性を備えた人材を育成すべく、2008年に山梨大学に開設されました。外国にルーツを持つ子どもの教育に携りたい人、国際交流や異文化理解に関心のある人、日本語教育を学んで世界とつながっていきませんか。　（文責：仲本 康一郎）



外国につながる子どもと日本語指導

言語教育コース 英語教育系

取得免許（卒業要件）

小学校一種 ＋ 中学校二種（英語）
または
中学校一種（英語） ＋ 小学校二種

学生が近年取得したその他の免許

高等学校一種（英語） など

コース紹介詳細は Webページへ

英語を学び味わう楽しさ、英語を教える喜びを知ろう

英語教育系では、英語のコミュニケーション力を身につけながら、英語の体系や英米文学における表現についての探求を深め、効果的な英語の指導を行うことのできる実践力を備えた人材を養成します。 具体的には、（1）英語ということばの知識体系の解明を目指す英語学、（2）作品の講読を通し、深い英語力をつけると共に、人生を考え、豊かな心を養う英米文学、（3）聞く・話す・書く等の実践的な英語力を育む英語コミュニケーション、（4）英米の文化について学び、自国の文化との比較も行う異文化理解、（5）英語習得のメカニズムと効果的な教授方法について研究する英語教育学、などを日本人教師あるいは外国人教師とともに学びます。



● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

英語教育系のカリキュラムでは、１年次に「学部入門ゼミ」を履修し、言語教育コース各教員の専門分野を知り、学ぶ領域の全体像をつかみます。２年次からは専門科目の履修が始まり、英語学、英米文学、英語教育学などの分野にわたって専門知識と応用力を身につけます。３年次には自らの研究分野に応じてゼミを選択し、４年次に卒業論文に取り組みます。実習としては、２年次に観察実習、３年次に教育実習を行います。

●主な授業科目

１年次	２年次	３年次	４年次
学部入門ゼミ 初等外国語科教育学	中等英語科教育法 英語授業実践演習 言語学概論 アメリカ文学史 英語発音法 英語会話	英語教育教材教具論 英語教育の諸問題 英文法演習 英米文学演習 異文化理解 英語ライティング	第二言語習得論 英語学演習 英米文学講読 イギリス文学史 英語スピーチ演習 異文化間コミュニケーション

中等英語科教育法

中等英語科教育法とは、中学校や高校における教科としての英語をどのように生徒に教えるかを学ぶ授業です。この授業では、英語科教育法の理論と技術について学び、実際の英語授業を想定した具体的な課題に取り組むことにより、将来教壇に立つに当たり必要となる基本的かつ重要な指導技術を身につけます。



言語学概論

言語学は、母語話者の持つことばの知識がどのような体系なのかを探る学問です。この授業では、英語や日本語を母語とする人のことばの知識について、音や語、句、文の性質や意味などの側面から具体例を通して検討します。英語などの外国語と日本語には、違いばかりでなく、共通点が多くあることも学びます。



MESSAGE

学生メッセージ 3年生 N. W. さん（甲府西高校出身）

多角的に英語を学びながら、実践を通して将来につながる力を身につけられる場

英語教育系では、教育学・言語学・文学など多様な分野から英語を学びながら、授業づくりや模擬授業を通して小・中・高それぞれの校種に応じた実践的な指導力を身に付けることができます。各分野の先生方から手厚いサポートを受けられることと、教師を目指す仲間と共に学びを深められることも大きな魅力となっています。



教員メッセージ 奥村直史 先生（専門分野：アメリカ文学）

大学生活は新たな巡り会いがいっぱい。知的好奇心を持って掘り下げよう。

大学の４年間は自由を満喫できる特別な時期ですが、何気なく過ごしているとあっという間に過ぎでしまいます。身の回りの出来事や授業で習ったことなど、なぜそうなの？と思う知的好奇心を大切にして、自分なりの「わかった」を追及してください。しかし、やりすぎは “Curiosity killed the cat.” と諺にもあるのでご用心。



研究紹介❶



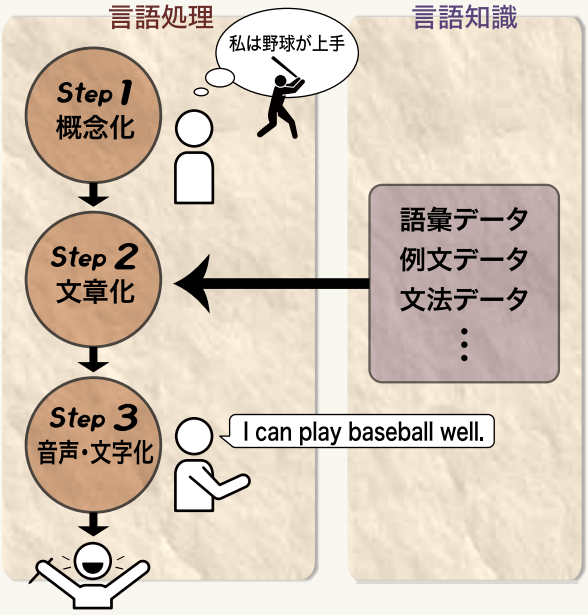
田中 武夫

～研究テーマ～
楽しくて力のつく英語授業づくり

田中 武夫　Tanaka Takeo
兵庫教育大学大学院博士課程満期退学。博士(学校教育学)。主な研究領域は、英語授業づくりや教師教育。著書は、『英語教師のための発問テクニック』や『英語教師のための文法指導デザイン』(共に大修館書店)など。

本物の英語コミュニケーション力とは何か

学校で英語を勉強したのに使えないという声をよく聞きます。コミュニケーションでの英語使用には、言語処理と言語知識の２つが関係しています。言語処理では、「私は野球が上手」という概念を頭に浮かべ、記憶の中から語彙や文法などの言語知識を使って、“I can play baseball well.”と音声や文字で文として表現します。実際のコミュニケーションでは即興的なやり取りが求められます。言語知識があっても言語処理が遅いと、流暢なやり取りができません。言語処理が流暢でも言語知識がないと正確なやり取りができません。言語処理と言語知識の両方を向上させれば、コミュニケーションで使える英語力を身につけることができます。本講座で、言語習得理論に基づく英語授業づくりを一緒に学んでみませんか。



研究紹介❷



加藤 千晶

～研究テーマ～
19世紀英国の文学・絵画における唯美主義

加藤 千晶　Kato Chiaki
慶應義塾大学大学院後期博士課程単位取得退学。専門領域は、D.G.ロセッティを中心とするロマン主義からヴィクトリア朝にかけての19世紀イギリス文学。共著書に、『文学と絵画―唯美主義とは何か』(英宝社)など。

時空を超える美意識

人はなぜ美に惹かれるのでしょうか。産業革命後のイギリスでは、実用価値偏重の時流への反動から、美のための美、芸術のための芸術を尊ぶ「唯美主義」という動きが起こりました。それは、たんに現実に背を向けて美に耽溺するのではなく、有限の人生において、美を感受する人間の能力を研ぎ澄まして、永遠に作品の中に結実させようとする芸術家たちの挑戦でした。批評家 W. ペイターは、この情熱を「固い、宝石のような炎で絶えず燃えること」と表現し、画家詩人 D.G. ロセッティは、美を通して、有限と無限、瞬間と永遠の接点を言語化・視覚化しました。美を求める心は、時と空間を超え、英語という言語を介して、私たちに伝わります。

Dante Gabriel Rossetti. *Poems*. London: Ellis, 1870.

作者自身による意匠を凝らした装丁の、1870年刊行の(翻訳以外の)自作第一詩集。のちに102篇のソネット集“The House of Life”(『生の家』)となる作品のうち50篇が収められている。



'Tis visible silence, still as the hour-glass.
. . .
Deep in the sun-searched growths the dragon-fly
Hangs like a blue thread loosened from the sky:—
So this wing'd hour is dropt to us from above.
The House of Life: sonnet 19 “Silent Noon”

「…砂時計のようにしずかな、目に見える静寂(しじま)。／…／陽が射し込む草むら奥深く、とんぼが／空から放たれた青い糸のように漂っている。／どうやらこの翅(はね)のある時は、天から僕たちのもとへと落ちてきたのだ。」
「沈黙の真昼」(拙訳)

美を感じる能力を研ぎ澄ますには、五感を鋭敏に駆使することが重要です。この詩では、普通は見えたり、聞こえたりすることのない時間(瞬間)が、「翅のある時」=「とんぼ」、または、かすかに音のする砂時計というイメージで具象化され、視覚と聴覚が混交するイリュージョンを生み出しています。

研究紹介❸

英語と日本語の共通点

英語と日本語にはいろいろな共通点があります。ウサギの形をした椅子のことを“rabbit chair”/「ウサギ椅子」のように２つの単語を組み合わせて表現することができますし、“ice cream and cake made of tofu”/「豆腐でできたアイスクリームとケーキ」はどちらも２通りに解釈できます(日本語では、豆腐でできているのがアイスクリームだけなのか、アイスクリームもケーキもなのかの２通りですが、英語ではどんな解釈になるでしょうか)。

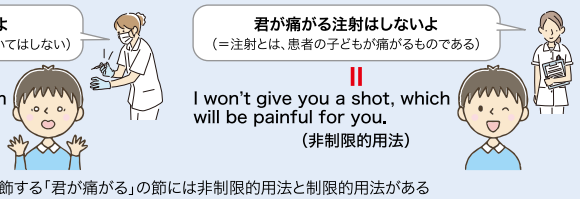
また、右の図にあるように、英語の関係代名詞節の制限的用法と非制限的用法は、カンマの有無で、または音声的にはっきり表されます。日本語の名詞を修飾する節にもこの２つの用法はあるのですが、その区別がはっきりとは表されないため、私たちは普段からこの２つの用法の修飾節を使いこなしているものの、英語のように２つの用法があることにはほとんど気づいていません。

英語教育系の言語学・英語学の授業は、英語など の外国語と日本語の共通点と相違点に着目することで、外国語に対する気づきと、母語である日本語に対する気づきを促し、ことばを立体的に捉えられるようになることを目指しています。　(文責:磯部美和)

《 名詞を修飾する節の２つの用法 》

君が痛がる注射はしないよ
(＝患者の子どもが痛がるような注射についてはしない)
‖
I won't give you a shot which will be painful for you.
(制限的用法)

君が痛がる注射はしないよ
(＝注射とは、患者の子どもが痛がるものである)
‖
I won't give you a shot, which will be painful for you.
(非制限的用法)



「注射」を修飾する「君が痛がる」の節には非制限的用法と制限的用法がある

生活社会教育コース 社会科教育系

取得免許（卒業要件）

小学校一種 ＋ 中学校二種（社会）
または
中学校一種（社会） ＋ 小学校二種

学生が近年取得したその他の免許

高等学校一種（地理歴史、公民）など

コース紹介詳細は Webページへ

「社会は暗記科目だから」なんて言わせない！

地理・歴史・哲学倫理学・法学・経済学・社会科教育学などを専門とする研究者を擁し、社会を深く知るための教養と、高い実践力をもつ教員の養成を目指しています。

１年生の秋に社会科教育系への所属が決まり、２年生の秋に卒業論文の指導教員が決定します。３年生からは教員の指導のもとで各分野の専門的な研究を行い、４年生で卒業論文を執筆します。既存の知識を「獲得」するだけでなく、その「獲得方法」や「創出方法」を、さまざまな学問を通じて身につけられるのが社会科教育系の特徴です。小学校と中学社会科のほか、高校地歴・公民の免許も取得できます。卒業後は半数以上が主に小中学校の教員として活躍しています。



● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

１年次では学部入門ゼミのほか、社会科内容論などで社会科の各分野の導入を行います。２年次には、概説・概論などの必修科目を履修し、社会科を構成する全分野の基礎力を身に付けます。３年次では、卒論の指導教員のもとで、演習・実習などのゼミを選択して各自の専門分野を深めるとともに、教育実習での実践を試みます。４年次では、教員採用試験などの就活を進めながら、４年間で学んだことを卒業論文にまとめます。

●主な授業科目

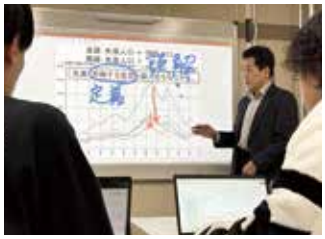
１年次	２年次	３年次	４年次
学部入門ゼミ 社会科内容論 初等社会科教育学	中等社会科教育法 日本史概説 地理学概論 法律学概説 哲学概論 社会科教育学概論	日本史演習 西洋史演習 地理学野外実習 経済学講読 哲学倫理思想史 社会科授業構成論	歴史学特別演習 地理学演習 経済学演習 哲学倫理学演習 社会科教育学研究法 卒業論文

社会科教育学概論



「社会科」とは、どのような教科であり、どのような教科ではないのでしょうか。いかなる教育こそが「社会科」の教育と呼ぶにふさわしいのでしょうか。そのような教育をどのようにして可能にすることができるのでしょうか。これらの問いを受講者が教育実践に関する個々の具体的なテーマに即して追究します。

経済学講読Ⅰ



社会を理解し、人に説明するためには、様々な資料を扱う必要があります。そこで本授業では、数値を解釈し、説明に用いることができるよう、計算や加工の方法を教えています。なお、ただ表計算ソフトを使って処理するだけでなく、定義や方法を確認し、説明する内容を慎重に準備することも説いています。

MESSAGE

学生メッセージ ― 4年生 K. S. さん（静岡県立焼津中央高校出身）

部活動に、研究に、『青春』を駆け抜けよう！



史学、地理学、経済学、哲学、社会学、法学といった社会科に関わる様々な分野を学べるとともに、教師として実践的な指導力を身につけることができます。また、陸上競技部の一員として、仲間達と共に切磋琢磨してきました。OBOG、地域の方々と一緒に、山梨県内の陸上競技に携わらせて頂けた経験は、とても貴重なものでした！

教員メッセージ ― 相澤康隆 先生（専門分野：哲学・倫理学）

大切にしなければならないのは、ただ生きることではなく、よく生きること。



私の専門はギリシア哲学で、近年はソクラテスを中心に研究しています。ソクラテスは「大切にしなければならないのは、ただ生きることではなく、よく生きることだ」と言いました。哲学を、そして社会科のその他の科目を学ぶことを通じて、よく生きることについて学生たちに考えてもらいたいと思っています。

大隅 清陽

古代甲斐国の成り立ちから山梨県の特色を考える

～研究テーマ～
日本古代史
（特に律令制の時代）



大隅 清陽 Ohsumi Kiyoharu
福岡県北九州市生まれですが、中2まで北海道札幌市、中3から大学まで東京で過ごしました。滋賀大学経済学部（彦根市）をへて、1997年に山梨大学に赴任。社会科の日本史分野を担当しています。

7～10世紀の律令制時代の政治制度が専門ですが、山梨大学に赴任してからは、現在の山梨県に相当する古代の甲斐国（かいのくに）の研究にも取り組んでいます。

私の古代地域史研究の特色は、甲斐国の特色を、列島規模の遠距離交通を含む交通体系のなかで考察している点にあります。

太平洋沿いの街道である東海道と、本州内陸部の山国を東へと進む東山道、この何れにも接していない甲斐国は、かつては、外部との交流を閉ざされた奥深い山国と考えられていましたが、実際は、東海道と東山道を結ぶ交通の結節点として、多くの人々が行き交う要衝の地でした。

また、現在の郡内地方である都留郡は、もとは相模国の一部だったのですが、郡内を通っていた御坂路が、7世紀の末に、国家の管理する東海道の支路（甲斐路）として整備されたため、甲斐国に編入されることになりました。

このように、交通という観点から古代の甲斐を考えることは、現在の山梨県の地域的な特色を考えるうえでも有効だと考えています。



図1【山梨県史 通史編1　原始・古代. 山梨県. 2004. p.487より引用】

大化改新（645.6）以前の東国と国造

POINT1

大化改新以前の地方は、全国に120あまりが置かれた地方豪族の国造（こくぞう）によって支配されていました。現在の郡内地方（都留郡）は、相模川（桂川）流域を支配していた相武国造（さがむのこくぞう）の領域で、甲斐ではなく相模（現在の神奈川県）の一部でした。



図2【平川南. あたらしい古代史へ3　交通・情報となりわい. 吉川弘文館, 2020. p.66より引用】

東海道・東山道を結ぶ甲斐

POINT2

古代の基幹交通路である東海道と東山道は、いずれも甲斐を通っていませんでしたが、逆に甲斐は、東海道と東山道を結ぶ重要な機能をもっていました。甲府市酒折にある酒折宮は、その交通路の中間地点にあたります。



図3　【讀賣新聞 地域 山梨3 2014年6月27日（金）より引用】

東海道甲斐路の設置による都留郡の甲斐編入

POINT3

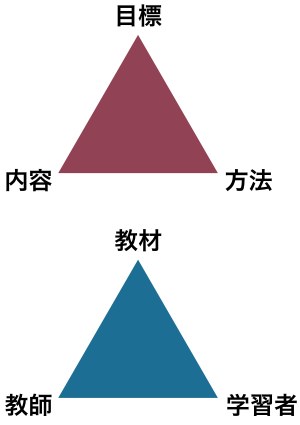
7世紀末の天武天皇の時代、律令国家は全国に七道という官道を設置し、ほぼ等間隔に駅という交通施設を置きました。甲斐は東海道甲斐路によって東海道に接続されましたが、そこに置かれた駅は甲斐国の管轄でした。このため、それまで相模の一部だった都留郡が甲斐に編入され、現在に到る甲斐国（山梨県）の形が定まりました。

コースの紹介

社会科教育系ではどんなことを学ぶ？

小・中・高の社会科の「授業」の様子をイメージしてみてください。頭の中に、授業で学ぶ「学習者」、学習者に教える「教師」、そして教師と学習者が使っている教科書や資料集、地図や統計データ、歴史上の人物の肖像画や言葉…などの「教材」が思い浮かんだでしょうか？　では、これらの教師、学習者、教材の3つが、どのように結びついていると「良い」「社会科の」授業と言えるでしょうか。言い換えると，社会科の授業は、「何のために（目標・目的）」、「何を（内容）」、「どうやって（方法）」教えるものであると良いでしょうか。

社会科教育系の学生は、これらを問いながら、大きくは①歴史や地理、公民系の学問、②学習者である児童・生徒、③社会科という教科の目標・内容・方法に関わる科目を学びます（他にも、教育の歴史や制度についてや、①～③にまたがった内容も学びます）。そのうちの③に該当する「公民科教育法」では、社会科で育てる「市民」とはどのような資質・能力を備えた人なのか、今の学校では市民を育てる教育としてどのようなことが行われているのか、今後は市民をどのように育てていくとよいのかを考え、実際に授業を計画し学生同士で実践してみます。



生活社会教育コース 家政教育系

取得免許（卒業要件）

小学校一種 ＋ 中学校二種（家庭）
または
中学校一種（家庭） ＋ 小学校二種

学生が近年取得したその他の免許

高等学校一種（家庭） など

コース紹介詳細は Webページへ

持続可能な社会をめざして明日の生活を創造しよう

私たちの生活をよりよくしたいと思いませんか？　自分らしく、支え合いながら、豊かに暮らしたいと思いませんか？　私たちの日々の暮らし（生活）の基礎となる「家庭」を中心に、生活を科学するのが「家政学（生活科学）」です。この家政学を学問的基盤とし、人間、社会、環境とのかかわりを重視し、よりよい暮らしを創造・実践していくのが「家庭科」です。近年、生活にかかわる課題は多様化・重層化しつつありますが、これらの課題の解決と持続可能な社会を構築していくために家庭科では多様性（ダイバーシティ）などグローバルな視点を大切にしています。

自立・共生と豊かな暮らしの実現を目指して未来を切り拓く家庭科について、共に学びましょう。



ちらし寿司・茶碗蒸し・わらびもち

● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

小学校及び中学校・高等学校の家庭科教員免許に対応し、被服学、食物学、住居学、家庭経営学、保育学の各専門領域と、教科の理論や指導法を学ぶ家庭科教育学をバランスよく学べます。授業は、講義のほか実習・実験・演習など多様な学習形態を取り入れ、講義で学んだことを知識・技能として定着させることができます。生活者として、教員としての高い実践力を身につけられるようなカリキュラムとしています。

●主な授業科目

1年次	2年次	3年次	4年次
初等家庭科教育法 家庭科内容論	中等家庭科教育法 被服学概論 食物学概論 住居学概論 家庭経営学概論 保育学	中等家庭科授業演習 被服科学 食生活論 住居設計・製図	家庭科教育学 食物学実験 家族関係論 卒業論文

被服学概論（被服実習を含む）



この授業ではスモックと浴衣を作ります。身体を包むには意外と大きな布が必要で、スモックなら110cm幅の布を2mくらい、浴衣なら36cm幅の布を11mくらい使用します。これを和洋の縫製技術を駆使し、衣服の形にしていきます。製作は大変ですが、体験することで得られる理解と出来上がった時の喜びは格別です！

卒業論文発表会



家政教育系では３年次の秋から卒業論文に取りかかります。家庭科に関するこれまでの学びを「研究」に深化・発展させ、その集大成を後輩や教員に対して発表します。それぞれが生活の中から見い出した課題に対し、探求心をもって取り組んだ独創性のある研究成果を発表する４年生の姿は、後輩学生のロールモデルにもなります。

MESSAGE

学生メッセージ ― 4年生 T. H. さん（岐阜県立東濃実業高校出身）

アットホームな家政教育系で、実生活にも役立つ多くの学びを得ることができました。

家庭科の専門的な知識を持った熱心な先生方から、一人ひとり丁寧な指導を受けることができます。各分野の授業で学んだ内容は、家庭科の教員になるための学びとしてはもちろんですが、毎日の生活にもとても役立っています。アットホームな雰囲気で楽しく家庭科を学ぶことができ、充実した学生生活を送ることができます。

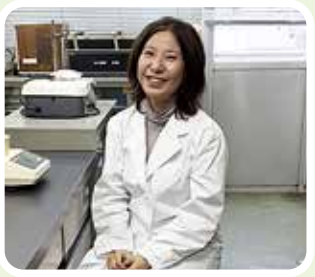


教員メッセージ ― 岡松 恵 先生（専門分野：被服学）

衣生活は、発展的で創造的なものだと思います。

私は実験や実習も担当していますが、専門は小袖模様の研究です。

小袖模様には江戸時代の人々の美意識や心情が表れています。現在、衣服はあふれ、断捨離され、その価値が削がれていますが、現代の衣生活においても昔と同様に美や愉しみがあり、それを見出そうとすることは、日々の生活を営む上で意外と大切なことなのです。



研究紹介❶

神山 久美

～研究テーマ～
消費者教育
生活経営学



神山 久美　Kamiyama Kumi
文部科学省消費者教育推進委員会や経済産業省消費経済審議会、地方自治体の委員等に携わり、令和6年度消費者支援功労者表彰（内閣府特命担当大臣表彰）受賞。山梨大学教育学部附属小学校校長（兼任）。

消費者教育の推進を目指して

小・中・高校の家庭科では、消費者教育を体系的に学びます。成年年齢の引き下げや SDGs の影響により、その重要性が高まり、消費者市民社会の構築を目指す内容へと発展しています。

学習指導要領改訂の際に、山梨県の教育関係者と作成した「小学校・中学校における消費者教育：成年年齢引き下げを見据えた指導のために」（消費者教育教材資料表彰優秀賞受賞）などを活用し、実践的な消費者教育を推進できる教員の養成に努めています。

学生の教育実習の写真は、この教材掲載の「買い物はお金の投票」の図を使い、消費者の選択・行動が社会に与える影響を小学生に考えさせている場面です。また、その下の写真は、おこづかいに関するすごろく教材を試行しながら、子どもの金融経済教育について学生が意見を出し合う授業の様子です。







研究紹介❷

志村 結美

～研究テーマ～
家庭科教育学
キャリア教育



志村 結美　Shimura Yumi
証券会社勤務、都立高校家庭科教諭を経て現職に。家庭科の楽しさ、おもしろさを伝えることが目標。ハンググライダー、空手道、スキー、ダイビングなど多様なスポーツにTRY。現日本家庭科教育学会副会長（～2025年7月）。

家庭科っておもしろい！

家庭科は日々の私たちの生活の営みを真ん中におく唯一の教科です。全ての学びは私たち自身の現在や将来と関わりがあるだけではなく、私たちを支える家族や社会、環境をも動かすことに繋がります。身近な生活にこそ、自らや社会の課題を解決する鍵が隠れています。そんな鍵を探して、鍵をまわして、課題を解決、開放していきましょう。「Think Globally, Act Locally！」

そのような家庭科を真正面に見つめ、家庭科のあり方を追究するのが家庭科教育学です。研究は、主に「家庭科におけるキャリア教育」や「家庭科の教員養成・研修」等をテーマとし、家庭科教育に関連した実践研究等にも取り組んでいます。

以下は、大学の授業の様子や、卒業研究における卒業生の授業実践の様子です。多くの卒業生が教員として頑張っています。



コースの紹介

「家政教育系、ここが魅力！」

多彩で専門性の高い実験・実習・演習
仲間同士で高め合える学生生活

家政教育系では各教員の専門性を活かした実験や実習、演習の授業が展開されています。学生と教員の距離が近く、また学生同士は学年を問わず交流が深いため、同じ志を持った仲間同士で協力しあい、力を伸ばすことができます。

秋頃に行う懇親会では、各学年が一品ずつ腕をふるい、家政教育系ならではの美味しい昼食を楽しむなど、和やかな環境が魅力です。







科学教育コース 数学教育系

取得免許（卒業要件）

小学校一種 ＋ 中学校二種（数学）
または
中学校一種（数学） ＋ 小学校二種

学生が近年取得したその他の免許

高等学校一種（数学） など

コース紹介詳細は Webページへ

数学で考え、数学で表現する力を育てるプロになる

数学は現代の高度情報化社会において、学問としてその社会の発展を促すだけでなく、その社会で生き抜く上で大切な言葉と論理的な思考力を与えるものです。そのため、小学校から高等学校までの学校教育において、子どもたちに本質に迫る算数・数学教育を行うことが重要です。数学教育系では、小中高の算数・数学の内容だけでなく、その背景にある専門的な数学の知識やその考え方を身につけること、子どもたちの思考や知識の獲得の仕方を学んで教材開発や学習指導を創意工夫して実行できることを両輪とした教育を行います。結果として、数学の専門知識をもち、それを的確に表現し、子どもたちの考える力を育成できる教育のプロを育てることが目標です。



● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

数学教育系では、数学教育学、代数学、幾何学、解析学、確率・統計学などを講義・演習を通じて学びます。数学の専門的な知識を確実にするとともに、算数・数学の授業で何をどう教えるかや児童・生徒の思考についても考えます。3年次からは数名ずつのそれぞれ興味のある専門のセミナーに分かれて、各自の研究テーマに取りかかり、現代数学や数学教育学の知識と考え方を身につけ、4年次に卒業論文として仕上げます。

●主な授業科目

1年次	2年次	3年次	4年次
線形代数学 微分積分学	中等数学科教育法 集合と写像 関数と数列 立体の幾何学 微分方程式 確率論	数学教育学習論 関数の空間 曲線の幾何学 数理統計学 複素関数	数学教育認識論 卒業論文の主な分野 数学教育学 確率・統計学 結び目理論 偏微分方程式論

集合と写像



例えば、自然数と整数はどちらが「多い」でしょうか？この質問は集合と写像を学ぶと答えられます。現代数学はどの分野でも集合と写像の言葉で記述されています。この授業では命題と論理、集合、写像、同値関係など、数学を学ぶ上で基礎となる概念・仕組みを理解し、その論理的な表現方法について学びます。

中等数学科教育法



数学の教員を目指すには数学教育学を学ぶ必要があります。中学校で扱う定理等を検討し高校とのつながりを考察すると、これまで分かっていたと思っていた内容の理解がさらに深まります。この理解を基にして、生徒が自ら考え判断できるような学習指導を目指し、数学の教材研究、授業研究をこの授業では行います。

MESSAGE

学生メッセージ ― 2年生 N. K. さん（韮崎高校出身）

数学の教員になるための＂すべて＂がここにあります。



数学教育系では教育学や専門的な数学の充実した学びが行えるのは勿論、同じ目標を持つ仲間と共に活動できる非常に素晴らしい場所だと感じています。また、実習等で数学を通して現場の子供達と触れ合うことは非常に楽しく、幸せも感じられます。数学教員を志す方にとって最高の環境であることは間違いありません！

教員メッセージ ― 中村拓司 先生（専門分野：結び目理論）

数学を通して「なぜ？」を「なるほど！」に変える、そんな体験をともにしていきましょう。



私の専門は結び目理論という幾何学の一種です。空間の中の結ばれた1本の輪がほどけているかどうかを数学的に判定するという分野です。学生のころに、こんなものが数学の対象になるのかと面白く感じ、そのまま現在に至ります。一緒に数学の自由さ・楽しさ・面白さを学んで、それを伝える教員を目指してみませんか？

研究紹介❶

中村 拓司



～研究テーマ～
結び目の数学

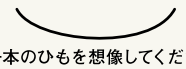
中村 拓司　Nakamura Takuji
大学４年生のときに結び目の数学と出会い、その面白さに触れました。数学者になるため大学院博士課程から関西に移り、５年ほど前に郷里の山梨に帰ってきました。富士山を見ながらの暮らしは幸せです。

同じ結び目なら変わらない量・性質は？

日常の中で紐を結んだときに現れる「結び目」が数学の研究対象になっています。数学での結び目とは３次元空間内の自分自身とはぶつからない閉曲線（輪っか）のことです。見た目は違うが連続的に動かして同じ形になる結び目は同じとみなし、分類していくのが結び目理論。３次元の中の１次元という次元の差が結ばれるという現象を起こし、位相幾何学を中心に盛んに研究され、現在では DNA の研究にも応用されています。

見た目が違う２つの結び目が同じか・異なるかを証明するのが、この数学の難しさ・面白さの一つであり、そのために「同じ結び目なら変わらない量・性質」を日々探究しています。これを不変量といいますが、不変量の値が異なれば結び目が同じでないことがいえます。

結び目の話


一本のひもを想像してください。


両端を持って適当に結びます。


結ばれたひもができる。


両端をつなげた「輪っか」が数学での結び目。

結び目の変形

問：次の２つの結び目は見た目は違いますが同じです。変形の過程を描いてみましょう。



【変形の過程】





研究紹介❷

清水 宏幸



～研究テーマ～
学校数学における文字式の学習指導に関する研究

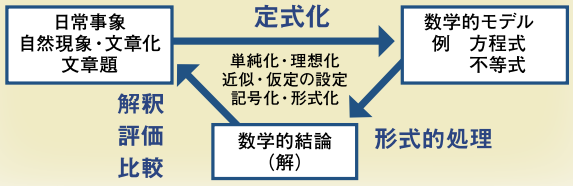
清水 宏幸　Shimizu Hiroyuki
山梨県内公立中学校、山梨大学附属中学校の数学科教諭として20年間勤めました。その後、国立教育政策研究所、山梨県教育庁義務教育課に勤務し、現在、算数・数学の教員の育成に携わり、各地で授業研究をしています。

文字を用いた式は数学における言語

様々な分野の問題を解決する力を身に付けるには、数学の言語である文字を用いた式を使いこなせるようになり数学的な思考をすることが大切です。文字を用いた式の使用は論理的に考える力を身につける役割も果たします。文字を用いた式は数学を学習する基盤であるにもかかわらず、多くの児童生徒が困難を感じていて、学校数学の習得に支障をきたしている様子がうかがえます。

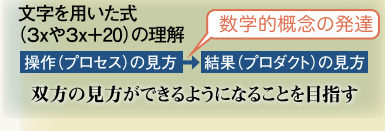
私の研究は、実態調査を通して児童生徒の文字を用いた式に対する誤った概念を特定し、それらを解消するよう、小学校・中学校・高等学校と系統的に文字を用いた式を習得することを意図した学習指導を提案することです。これらの成果を、学校数学の指導者に広く発信できるように取り組んでいます。

● 数学的に問題を解決する過程
この過程の「定式化」の場面で文字を用いた式で表して探究することになる

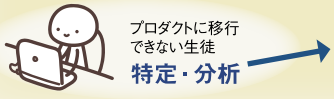


● 文字を用いた式を利用して問題を解決するには
「式に表すこと」と「表された式の意味を読み取ること」が必要

方程式を「定式化」する相に焦点を当てて



●操作（プロセス）の見方とは、例えば、3x+20をxに3をかけて20をたす計算とみる見方
●結果（プロダクト）の見方とは、例えば、3x+20そのものが値を表すとみる見方



・文字を用いた式の理解
・文字xの理解
・乗法（かけ算）の意味理解

コースの紹介

数学教育系の卒業生の言葉

私は、大学卒業後、教員になり、貢川小学校に勤務して3年目を終えようとしています。現在は、5年生を担任しています。



甲府市立貢川小学校
林田 亮 教諭（2021年度卒）

●大学での勉強を振り返って

大学では、代数学、幾何学、解析学、確率・統計学となり、より専門的な内容を学びます。数学の内容が難しいため、他のコース・系と異なり、みんなで集まって数学の問題を解いたり、教え合ったりして絆を深めることができました。みんなで問題について議論することにより、どこに着目すればよいかやどこが重要なポイントなのかをつかむことができました。また、算数を教えるテクニックだけでなく、算数を身近に感じて子ども自身が問題に取り組む意欲を喚起できるようにするにはどうしたらよいかなどの数学教育学も学ぶことができました。

これらの経験が、小学校で算数だけでなく、他の教科を教えるときにも役立っています。

●高校生へのメッセージ

大学には専門的な知識をもった先生が多数いらっしゃいますので、広い視野で数学や数学教育を学ぶことができます。小中高の算数、数学の先生になりたい人にはお勧めです！

科学教育コース 理科教育系

取得免許（卒業要件）

小学校一種 ＋ 中学校二種（理科）
または
中学校一種（理科） ＋ 小学校二種

学生が近年取得したその他の免許

高等学校一種（理科） など

コース紹介詳細は Webページへ

理数離れに立ち向かい、自然科学の楽しさを伝える

理科教育系では物理学、化学、生物学、地学、理科教育学の5分野を深く学べる講義・演習、実験・実習等、広範なカリキュラムを開設しています。また、希望する何れかの分野の研究室に入り、一人の教員に対して数名の学生という指導体制のもとで卒業研究を行います。理科教育系の学生は卒業研究を通して、自然科学を論理的にわかりやすく説明できる能力、つまり実践的教育能力を身につけることができます。さらに、理科の教員免許以外にも山梨CST（コア・サイエンス・ティーチャー）という山梨県における理科の中核教員としての資格も取得できます。理科を深めその魅力を伝えたいと思っているなら、是非、理科教育系で理科の本質やその伝え方を学びましょう！



● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

理科関連科目として、1年次は生物学一般、地学一般、化学実験、地学実験、初等理科教育学、2年次は理科教育教材分析論I、物理学一般、化学一般、物理学実験、生物学実験、中等理科教育法、理科教育学実験、3年次は理科教育教材分析論IIを履修し、4年次は理科教育課程論を履修し、卒業研究を行います。その他、電磁気学、熱力学、有機化学、無機化学、植物学、多様性生物論、地球変動学、地球環境史、野外実習等も履修します。

●主な授業科目

1年次	2年次	3年次	4年次
生物学一般 地学一般 化学実験Ⅰ・Ⅱ 地学実験Ⅰ・Ⅱ 初等理科教育学	理科教育教材分析論Ⅰ 物理学一般 化学一般 物理学実験Ⅰ・Ⅱ 生物学実験Ⅰ・Ⅱ 中等理科教育法 理科教育学実験	物理学／化学／生物学／地学／理科教育学セミナーⅠ・Ⅱ 理科教育教材分析論Ⅱ	卒業論文 理科教育課程論

生物学実験

生物学実験では野外に出て学内の草や木、川に生息する生物を採集して観察したり、基礎から顕微鏡の使い方を学び、種子植物の花粉やその発芽、染色体、減数分裂、シダ植物の胞子などの観察を行ったり、ザリガニ、二枚貝、フナ類の外部及び内部形態の観察や同定、自分の DNA 抽出・増幅・検出などを行ったりします。



山梨CST（コア・サイエンス・ティーチャー）

山梨CST養成プログラムでは、山梨県における理科の中核教員（山梨CST）の養成を目指しています。多くの学生が受講しており、理科の中核教員としての資格認定を受けています。山梨県立科学館での科学工作や天文実習、県内の最先端科学施設や富士湧水の里水族館の見学など、山梨の魅力を知るための様々なプログラムを受講できます。



MESSAGE

学生メッセージ ― 4年生 Y. K. さん（巨摩高校出身）

実験や研究を通して専門性を高め、理科の面白さを再発見できます。

理科教育に関する全ての分野で実験を行って知識や技能を身に付ける中で、自分の興味のある分野を選択し、より深く研究できます。また、分野ごとに高い専門性を持った先生方から、すぐに指導を受けることができます。実際に自分の目で見たり、経験したりすることを通して理科の面白さを感じて欲しいと思います。



教員メッセージ ― 佐々木智謙 先生（専門分野：理科教育学）

子どもの科学的認識を目指す理科授業デザイン

科学者は、我々をとりまく自然に魅せられ、思索・探究し、そこに潜む理を見つけ、法則や仕組み等を発見してきました。子どもも同じく、自らの知識や経験等を駆使して、自然を理解しようとしています（科学しています）。子どもの科学の世界をより科学的なものへと変容・再構成するための理科授業を一緒に作ってみませんか。



研究紹介❶



森長 久豊

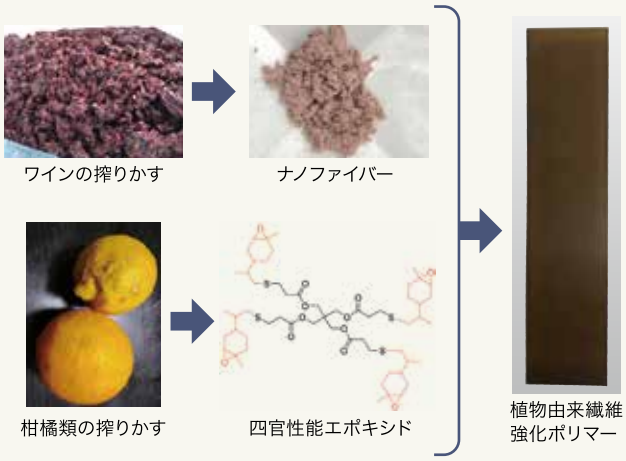
～研究テーマ～
地球環境に配慮した機能性ポリマーの開発

森長 久豊　Morinaga Hisatoyo
有機化学、高分子化学を専門領域に持ち、物質や重合反応を分子レベルで設計する課題に取り組んでいる。また、研究を遂行する上で、地球環境に対して優しい原料や合成方法を用いることに心がけている。

分子レベルでのアップサイクルを目指して

本来は廃棄される未利用資源を利用し、持続可能な社会に必要とされる付加価値のある機能性材料を開発することを目指しています。身の回りを注意深く観察してみると、有効活用できる未利用資源がたくさんあります。たとえば、世界中で最も栽培されている植物の一つとして柑橘類植物が挙げられますが、その加工過程で大量の搾りかすが発生します。搾りかすの中には精油が含まれていることから、その精油を原料とした様々な機能性ポリマーを開発してきました。

一方、山梨県ではワインの製造が盛んですが、その過程で大量の搾りかすが発生することが知られています。その搾りかすから得たナノファイバーを用いて、植物由来繊維強化ポリマーの開発にも成功しています（こちらは山梨県との共同研究による成果です）。



研究紹介❷



杉山 雅俊

～研究テーマ～
理科を教える教師の力量形成

杉山 雅俊　Sugiyama Masatoshi
理科の教師教育を研究テーマとして、主に学部学生や教職大学院生を対象とした研究に取り組む。模擬授業や教育実習における授業の構想・実践・省察の一連の過程を研究し、学生の指導に生かす。

教師としての力をつけるために何を振り返る？

教師として成長するためには、省察（リフレクション）が大切であることがわかっています。その省察は，自分のスキルを磨いていくためだけに行われるものではありません。自分がどのような理科授業を目指しているのか、子どもにどのように育ってもらいたいのかという自分の「観」を問うためにも行われるものです。

教育は歴史と社会に規定されるものであるため，当然，理科を教える教師に求められる力も変化します。最近では、科学技術が関連する社会的諸問題を扱うことが注目され始めており、理科を教える教師にも政治や社会に対する理解が求められるようになってきました。教育の在り方も変化する中で、自分は教師として何を目指すのか、何ができるのかを問い直し続けることが大切です。



コースの紹介

理科教育系に所縁の大学施設

理科教育系に所縁のある大学施設に水晶庫（登録有形文化財）と大村智記念学術館があります。水晶庫に展示されている水晶は、元々は学芸学部（教育学部）地学教室が所蔵していた山梨県産水晶です。また、大村智記念学術館は大村博士のノーベル生理学・医学賞受賞を顕彰して設立されましたが、大村博士は学芸学部自然科学科（現在の理科教育系）を卒業されました。

（文と写真：福地龍郎）


乙女鉱山産日本式双晶（山梨大学水晶庫所蔵）



ノーベル賞メダル（模型品）

科学教育コース 技術教育系

取得免許（卒業要件）

小学校一種 ＋ 中学校二種（技術）
または
中学校一種（技術） ＋ 小学校二種

学生が近年取得したその他の免許

中学校一種（数学） など
高等学校一種（工業）が取得可能

コース紹介詳細は Webページへ

理論と実習を通して「ものづくり」の考え方を学ぶ

技術教育系では、生活や社会において様々な技術が複合して利用されている現状を踏まえ、材料、加工、生物育成、エネルギー変換、情報等の専門分野における重要な概念等を基にした教育を実施しています。また、安全・安心な社会の構築、職業人としての倫理観、環境保全やエネルギーの有効な活用、産業のグローバル競争の激化、情報技術の技術革新の開発が加速することなどを踏まえ、ものづくりを通して、地域や社会の健全で持続的な発展を担う人を育成する教育を行っています。技術教育系では、科学技術における"ものづくり"を基本としつつ、単に「物を作る」ということでなく、理論・実験・実習を通してその根底にある科学的な見方や考え方を学ぶことができます。



● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

技術教育系のカリキュラムは、材料、加工、生物育成、エネルギー変換、情報等の専門分野の基礎理論を始めに学習します。その後、実習を行うことによって、各分野の理解を深めるとともに、各分野を融合した総合的な技術を学びます。仕組みや構造を理解して単純に「物を作る」ということではなく、科学技術における「ものづくり」を基本とし、その根底にある科学的な見方や考え方を修得するために学んでいきます。

●主な授業科目

1年次	2年次	3年次	4年次
電気回路 材料加工学 金属工学 木材工学	機械工学Ⅰ 電気応用概論 機械基礎実習Ⅰ 金属加工実習 電気基礎実習 中等技術科教育法Ⅰ	情報概論Ⅰ 栽培学（実習を含む） 電子工学実習 計算機実習Ⅰ 中等技術科教育演習Ⅰ	機械基礎力学 電子工学概論 論理回路 卒業論文

計算機実習Ⅰ



中学校技術の情報についての理解を深めるために、コンピュータを利用した実習です。1人1台のRaspberry Piを使用して、Linuxの操作やエディタ、ファイル操作、ネットワークの基礎について実習を通じて学びます。ScratchやPythonを利用したプログラミングも実習に含まれており、論理的思考力の養成にもなります。

栽培学（実習を含む）



中学校技術の生物育成分野に関する基礎的な知識と技術の理解を目的として、講義と実習を実施します。気候や立地に適応する各作物の栽培特性を習得し、土壌の化学性、物理性を知り、その上に生育する作物の生理的な特性を理解します。実習では、キャンパス内の畑で野菜を育て、種まきから収穫まで行います。

MESSAGE

学生メッセージ ― 3年生 F. H. さん（日川高校出身）

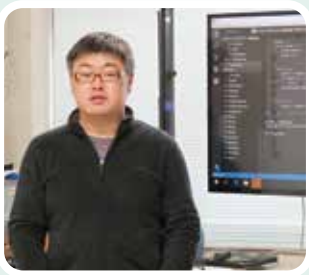
少人数授業で、質問や相談に丁寧に対応してもらえるため、質の高い授業や実習に取り組めることが魅力



技術に関する様々な分野の専門的な学習や、木材加工や金属加工などの実習授業があり、とても充実した学校生活を送っています。少人数で授業を行っているため、気軽に質問ができ、理解を深めることのできる質の高い授業に取り組めていることも魅力的です！ また現在、数学科の免許も取るために数学科の授業も履修して勉強に励んでいます。

教員メッセージ ― 山際 基 先生（専門分野：情報工学）

生活が便利になる技術から人生を楽しむ、豊かにする技術までを育む。



「技術」を通じて様々な考え方や新たな発見をしてください。技術は人間にとって不可能であったことを可能にしてきました。これからも新たな技術が生み出されることでしょう。講義や実験・実習で得ることは、教員になるために必要となるだけではなく、生活に役立ち、充実した人生をおくれることにつながります。

研究紹介❶

山際 基

～研究テーマ～
定量的授業分析とその自動化



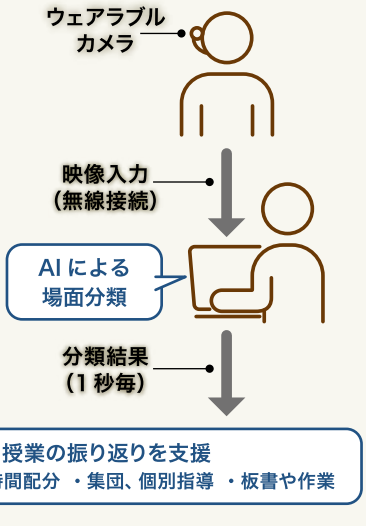
山際 基　Yamagiwa Motoi
人々や社会がより便利に、より豊かになるための情報処理とその教育実践を行っている。センサーが取得した情報を利用して様々な計算処理を行うセンシング情報処理に関する研究に取り組んでいる。

映像と情報処理で授業の振り返りを支援。

現在、教員の多忙化や ICT 導入による授業方法の多様化がある中で、教員の授業の質を向上させる取り組みが必要となっています。授業力向上のためには授業の振り返りが重要です。

授業における教員の視界は、教員の教育内容や活動の意図を強く反映させていると言えます。ウェアラブルカメラを用いて授業中の教員視界映像を取得し、AI を用いて動画に写る生徒の顔や体の数を検出するとともに、音声から話者ダイアライゼーションを行うことで、教員がどのような活動を行っていたのか授業の場面分類を自動的に行います。授業の場面分類を自動化することで、教員が授業を振り返る際に定量的な授業分析結果を提供する、授業の振り返りを支援するシステムを実現しようと研究を進めています。





研究紹介❷

林 丈晴

～研究テーマ～
技術教育の教育内容開発、設計工学に関する研究



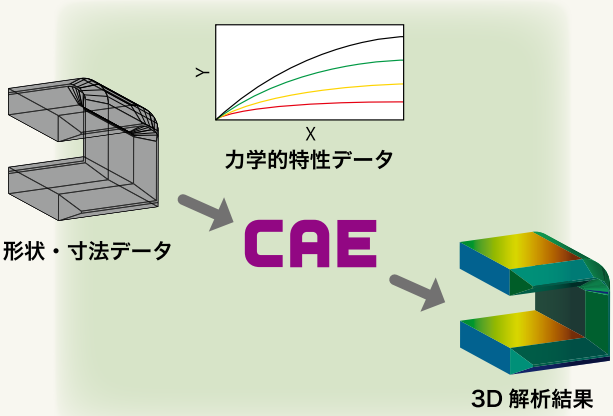
林 丈晴　Hayashi Takeharu
工業高校、高専において機械を教える教員として従事した後、現職。趣味はランニング。「機械もランニングも省エネが重要」がモットー。

技術と教育、技術と科学

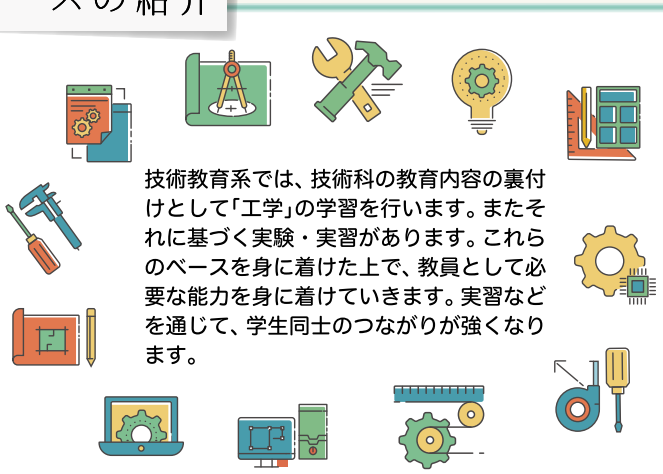
「てこ」を用いると、支点、力点、作用点の位置関係によって、どんなに重たいものでも持ち上げることができそうに思えます。しかし、実際に重いものを持ち上げようとすると、「てこ」は折れてしまうことがあります。これでは、「てこ」としての機能が十分であるとは言い難いでしょう。機械でも、設計段階において、熱エネルギーや電気エネルギーなどをどのように変換し伝達するかということを考えると同時に、そのエネルギー変換・伝達によって発生する力によって機械が壊れないようにすることも考えなければなりません。

このための学問として設計学が誕生し、現在では、コンピュータを用いた大規模計算によって設計を行うバーチャルエンジニアリングの基礎理論として発展しております。

私は、この設計学に関する研究や、このような先端的科学技術の基礎としての中等教育段階における技術教育の教育内容開発の研究しております。



コースの紹介



技術教育系では、技術科の教育内容の裏付けとして「工学」の学習を行います。またそれに基づく実験・実習があります。これらのベースを身に着けた上で、教員として必要な能力を身に着けていきます。実習などを通じて、学生同士のつながりが強くなります。



芸術身体教育コース 音楽教育系

取得免許（卒業要件）

小学校一種 ＋ 中学校二種（音楽）
または
中学校一種（音楽） ＋ 小学校二種

学生が近年取得したその他の免許

高等学校一種（音楽） など

コース紹介詳細は Webページへ

「感じる・表現する・創作する喜び」を分かち合う

音楽教育系では、音楽能力の専門性を高め、それを教育現場など社会へ還元するための応用力を養うことを目指しています。声楽、ピアノはもちろん、音楽理論や東洋・西洋音楽史、管弦打楽器・邦楽器・リコーダー実習、指揮法などの音楽専門科目や、初等・中等音楽科教育法など教職関連科目をバランスよく学ぶほか、声楽、器楽、作曲・編曲、音楽学、音楽教育など専門分野も幅広く学習します。

また、一般の方にもご来場いただいている年4回の「水曜イヴニングコンサート」や、県内のホールを会場に盛大に開催される卒業演奏会など、演奏や作品の発表機会が多いことも、音楽教育系の特徴の一つです。きめ細やかな少人数制で、伸びやかに個性を育てます。



● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

音楽科の学習指導内容である４つの領域「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」を万遍なく履修できるカリキュラムとなっています。

音楽科教育や各専門領域について幅広く学び実践する力を身に着け、教科等の専門教養や持続的変態力を音楽の教材研究や授業づくりへと発展させていきます。教職関連科目と音楽専門科目をバランスよく学ぶことで、人や社会への関心を持ち他者と協働する、教職への熱意や教職教養を養います。

●主な授業科目

１年次	２年次	３年次	４年次
声楽演習Ⅰ･Ⅱ ピアノ演習Ⅰ･Ⅱ 作曲基礎演習Ⅰ･Ⅱ 合唱Ⅱ ソルフェージュ基礎 管･弦･打楽器実習Ⅰ･Ⅱ･Ⅲ コンピュータ音楽研究	声楽実習Ⅰ･Ⅱ ピアノ実習Ⅰ･Ⅱ 音楽理論Ⅰ･Ⅱ 邦楽器実習 音楽史Ⅰ　合奏法 指揮法　合唱Ⅰ レコーディングスタジオ概論	ピアノアンサンブルⅠ･Ⅱ 音楽史Ⅱ 現代音楽演習 作曲特講	歌唱芸術演習 卒業論文 ピアノ･声楽･管弦打･音楽教育学･作曲

合奏法



２年次前期で履修する「合奏法」の授業では、主に作音楽器を使用して、あらゆる音楽的要素をコントロールすることで音を混ぜ「サウンドさせる」技能や、他の人の演奏から多くのことを知覚・感受し、瞬時に自身の演奏に反映させて、表現のベクトルを揃えていく合奏に欠かせない基礎的なスキルを実践的に学びます。

水曜イブニングコンサート



水曜イブニングコンサートは、日頃の研鑽の成果を披露する演奏会で、年に4回開催されています。一般に公開され、音楽を分かち合う生きた学びの場となっています。自分の力の限りを尽くして物事に取り組み、その成果を聴いて頂くという体験は大きな自信になり、人生を通しての財産となります。

MESSAGE

学生メッセージ ― 4年生 S. E. さん（甲府西高校出身）

音楽を学び、音楽を考え、音楽を表現する。あとは楽しむ！



音楽の教員になるためには、幅広く音楽を学ぶ必要があります。ピアノの経験は多少あるものの、初めての声楽や作曲などは苦戦の連続です。しかし、同級生や先輩方から多くの刺激を受け、楽しく学んでいます。また、授業以外にもさまざまな発表の機会があり、その経験を通して、自分を高めていくことができます。

教員メッセージ ― 池山洋子 先生（専門分野：ピアノ）

音楽は、音を使った他者とのコミュニケーション



音楽を創作、演奏するには「自分の頭で考えること」が大切です。楽譜に書かれている音符や記号が何をどのように表現するために書かれているのか、論理的に読み解いていくのです。そしてまた、音楽の源は人間の感情です。音楽を深く学ぶことで、人間を理解し、共感する豊かな心を育むことができると確信しています。

研究紹介❶

河野久寿



～研究テーマ～
現代音楽・電子音楽等の作曲

河野 久寿　Kawano Hisatoshi
長崎市出身。専門は作曲。国立音楽大学音楽学部作曲学科首席卒業（有馬賞受賞）、同大学院修了。国体やねんりんピック等の式典音楽や、現代音楽・劇音楽・電子音楽等幅広い音楽を手掛ける。

感動が人を動かす

音楽は古くから培われてきた重要な学問です。人類の歴史と共に音楽が存在します。日本でもはるか昔の縄文時代から素朴な鈴や石の笛に始まり、雅楽・能楽等、西洋音楽の導入と時代と共に進化を遂げています。

音楽はその時代に生きた人々の考えや感情、様々な情報が盛り込まれ、生きる世界や世代を超えて私たちに様々な気づきを与え、時に感動を覚えます。何に感動するのでしょう？ 良い音楽とは？ どうやって音で伝えるのか？ その“どうやって”の部分が技術・理論いわゆる学問となります。

「感動が人を動かす」がモットーです。

以前は作曲する際に自己の発信ということを強く意識していましたが、やはり音楽は人との関わりが欠かせないもので、これまでの音楽経験をどのように地域社会へ還元できるか考えるようになりました。勿論人を感動させることは簡単なことではありませんが、何かのきっかけになることを願い作曲しています。

教育の現場においても数多くの感動する瞬間が大事であると考えています。感動すれば行動が変わり、そしてその後の何かが変わる。そのようなきっかけを作れる先生となれるよう学びましょう！





研究紹介❷

小島千か



～研究テーマ～
小・中学校音楽科の指導と評価、音楽と美術の関連

小島 千か　Kojima Chika
大学でチェロを大学院で音楽教育を専攻。ジュニア弦楽合奏団などでのチェロ指導者や中学校、高等学校教員を経て現職。中学校では美術科を担当する機会があり美術の教員免許も取得しました。

まずは様々な音楽と関わろう！

みなさんは、小・中学校の音楽科の授業はどんな活動をしましたか？ 合唱やリコーダーを吹いた記憶しかない方もいらっしゃるかもしれませんが、音楽の授業は、歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の4つの活動から成ります。子どもたちは、これらの活動を通して、音楽の決まり事を学んだり、自らの思いや感性を生かして演奏したり音楽をつくったりします。

「音楽は、個人の思いを表現することであり正解はない」と言われたりもしますが、正解の方向性があるもの、発想力を生かすような正解のないものもあります。大学では、その両方について色々な音楽と関わりながら学びます。そして、音楽の本質や良さを再認識し、音楽を通して人を育てることについて一緒に考えていきましょう！



●音楽を聴きその特徴をレゴブロックで表したもの



●レゴブロックの作品を基にソングメーカーでつくった音楽

創造性を育む音楽教育

音楽と絵画や造形作品には、様々な共通点が存在します。それらを活用して、聴いた音楽の特徴を視覚化したり、視覚的な作品を見てその特徴から音楽をつくったりすることにより、音楽の理解を促し創造性を育むことを目指して研究しています。授業では、レゴブロックやモールなどで音楽の特徴を表したり、様々な楽器や音楽制作ソフトを用いて音楽をつくったりします。



●絵画を基にした音楽づくり



●音楽の特徴を視覚化したものを基にした音楽づくり



●まねっこによる音楽づくり

コース紹介

卒業・修了演奏会のGPの様子



動画サイトへ➡

作詞：山梨大学芸術身体教育コース 音楽教育系学生
作曲：河野久寿

- 第74回 山梨大学卒業･修了演奏会 2025年2月13日(木)
- YCC県民文化ホール 小ホール



～近年の学生受賞情報～

- 「第26回国際芸術連盟作曲コンクール」第1位受賞（教育学部4年生）
- 「第10回K作曲コンクール」準優秀賞受賞（教育学部3年生）
- 音と音楽・創作工房116主催の作曲コンクール「Contemporary Computer Music Concert (CCMC)2025」電子音響音楽作品公募入選（教育学部3年生3名）
- 「第22回東京国際室内楽作曲コンクール」第2位入賞（修士課程2年生）

芸術身体教育コース 美術教育系

取得免許（卒業要件）

小学校一種 ＋ 中学校二種（美術）
または
中学校一種（美術） ＋ 小学校二種

学生が近年取得したその他の免許

高等学校一種（美術） など

コース紹介詳細は Webページへ

見て、触って、感じながら　美術を通して教育を探究

美術教育系では、「美術科教育」「絵画」「彫刻」「デザイン」「工芸」「美術理論・美術史」の科目が開講され、小学校の教員免許・中学校（美術）・高等学校（美術）の教員免許を取得することができます。

実際に見て、触って、感じながら世界を発見していくことは、私たちが生きていく上で大切なことです。また、さまざまな美術作品や表現に出会うことで、多様な文化や思想に触れることができます。美術と美術教育を学んで、子どもが成長するなかで自ら表現することの意義について、考えを深めていきましょう。

美術を通して、教育について広く深く学び、考え、社会や地域でさまざまな環境にいる子どもたちに寄り添う力を養っていきます。





● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

美術教育系では、１年次より専門科目群から授業を選択して履修し、絵画や彫刻、デザインや工芸といったさまざまな表現について学びます。そして、子どもたちの成長のなかでの美術の意義について考え、図画工作科や美術科の教員としての資質・能力を身につけます。3年次には、教育実習を体験します。最終学年では、大学生活の集大成として美術教育に関する卒業論文を作成し、卒業論文発表会で口頭発表を行います。

●主な授業科目

１年次	２年次	３年次	４年次
初等図画工作科教育学 図画工作科内容論 学部入門ゼミ	中等美術科教育法Ⅰ･Ⅱ 造形計画演習 彫塑 基礎構成 木材工芸 美術理論	中等美術科教育法Ⅲ 絵画表現 実材彫刻 視覚伝達デザイン 陶芸基礎演習 美術史Ⅰ	中等美術科教育法Ⅳ 立体造形 環境デザイン ガラス工芸 美術史Ⅱ 卒業論文

中等美術科教育法Ⅰ～Ⅳ

中学校美術科と高等学校芸術科（美術）（＝中等美術科）の授業をするために必要なことを学びます。まずは授業の基本的な考え方などを講義で学びます。ただし、授業のやり方に正解はありません。ですから、さらに自分で美術の授業を構想し、模擬授業を試み、課題を発見して解決することで学びを深めていきます。



卒業論文発表会（卒業制作展）

美術教育系では他の系と同様に卒業論文を課しています。美術科教育、絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術理論・美術史のいずれかの分野を選び、それぞれを専門とする教員の指導を受けます。その成果を卒業論文発表会にて公開し、実技を専攻する学生は卒業論文に加えて卒業制作展での作品発表も行います。



MESSAGE

学生メッセージ ― 3年生 A. S. さん（桐蔭学園高校出身）

映像で生み出す新しい世界

2年の授業で映像制作を経験しました。自分の表現したいものに合わせて試行錯誤しながら、映像の構成や編集に工夫を凝らしました。授業内での自由度が高く、アイデアを柔軟に形にできる環境だったため、思う存分集中できました。映像を通じて自分の世界観を伝える面白さを実感し、表現の幅を広げる貴重な機会となりました。



教員メッセージ ― 平野千枝子 先生（専門分野：20世紀の美術）

あなたの生活のなかに、美術はありますか？
みんなの豊かな人生を探しましょう。

戦争によって世の中が大きく変わったあと、芸術家たちも、「美術」ってどんな意味があったのかと、深く考え直しました。私は美術の歴史のなかでも、とりわけそうした時代を研究しています。自然環境やメディア環境が大きく変化する今、美術を通じて世界をていねいに感じとり、伝えることができたらいいですね。



研究紹介❶

井坂健一郎

～研究テーマ～
アートとテクノロジーの融合による絵画・インスタレーションの表現研究



井坂 健一郎　Isaka Kenichiro
東京藝術大学美術学部（油画）、筑波大学大学院修士課程（美術）及び博士課程（芸術学）に学び、国内外において作品発表を展開している。本学部では主に絵画の実技と理論の授業を担当している。

個性を生かした絵画表現とその指導法の探求

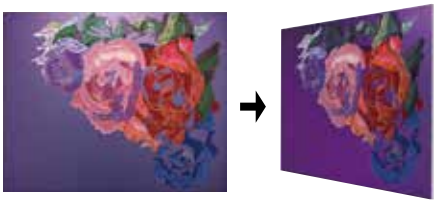
私は、絵画、写真、インスタレーション、ミクストメディアなどの作品制作を中心に、学生、一般市民、行政、企業等とのアートプロジェクトも行なっています。
近年は、陽極酸化被膜を施したチタンプレートの上に樹脂系の絵具で描く技法で表現しています。

教育学部の絵画の専門科目では、絵画の表現と鑑賞に関する専門的な指導をはじめ、学生が教員になった時にどのように絵画（絵に表す活動）を指導するかということも学生と共に考えています。

「絵に表す」ということは、人の数だけその方法があると思います。最初から答えはありません。個に応じた指導を通して、その人にしか感じられないことを絵に表すことができれば、そんな素晴らしいことはないでしょう。

陽極酸化被膜を施したチタンプレートを使用した作品例

チタンプレートの上にアルキド樹脂絵具による手描きで表現した「うたかた -2206」と、チタンプレートの上にデジタル写真を UV インクでプリントした「凛 -2015」。
いずれも鑑賞者の視点の違いで光の屈折が起こり、絵の表情が異なって見えます。



「うたかた -2206」
酸化チタン、アルキド樹脂絵具（角度によって背景色の見え方が異なる）



「凛 -2015」
酸化チタン、UV プリント（角度によって富士山の見え方が異なる）

研究紹介❷

新野貴則

～研究テーマ～
図画工作科・美術科の主体的な学びを実現する指導の方法論



新野 貴則　Niino Takanori
図画工作科・美術科における子どもの主体的な学びの実現を目指し、教育学をはじめ哲学や言語学、美学などの研究ジャンルを横断しながら教育の理念や方法に関する研究に取り組んでいる。

子どもの学びによりそう指導を目指して

子どもが自ら感じ、考え、試みることを通して、主体的に意味や価値をつくりだすことのできる図画工作科や美術科の授業の実現に向けて研究をしています。

現在は学習指導の方法論を展開しています。学習指導の方法論とは、授業において「どのように指導したらよいか」を考えるための理論です。理論といってもそんなに難しいものではありません。図画工作科、美術科の教科の特徴を踏まえながら、そもそも主体的な学びが実現しているとはどのようなことなのか論理的に、実践的に検討します。

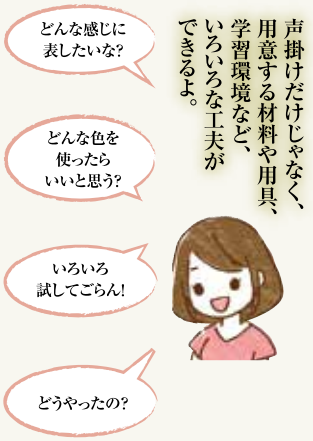
そのうえで、子どもの学びを構造化し、いわゆる学習モデルをつくります。これができたら、子どもの学習モデルに対応するように指導の工夫を考えます。

学習モデルの例



子どもの学びをどのようにとらえるかが、ポイントだよ！

指導の工夫の例（声掛けの場合）



声掛けだけじゃなく、用意する材料や用具、学習環境など、いろいろな工夫ができるよ。

子どもの学びの状況に応じて柔軟に！

学生の研究紹介

ゼミではこんなテーマに取り組んでいます

美術科教育学ゼミ　H.F. さん（甲府西高校出身）

中学校美術科の制作活動の「主題」について考えています。例えば、絵を描く授業で、あるテーマを基にイメージを広げ、言語化または想像力を働かせることで「透明感のある幸せな花」といった主題を生み出すことができます。

このような過程の中で、教師がどのように題材設定を工夫して促すことができるのか、さまざまなアプローチの仕方を研究しています。

美術理論・美術史ゼミ　N.K. さん（韮崎高校出身）

武田信玄がどのように描かれてきたかを調べています。信玄公のイメージは時代によって変化し、だんだんと現在の「あの姿」が定着していきました。肖像画、合戦図、浮世絵になんと仏像まで、たくさんの表現がなされています。

「なぜそんな表現なのか」「どうしてこの色なのか」といったところから更に詳しく調べていきたいと思っています。



芸術身体教育コース 保健体育系

取得免許（卒業要件）

小学校一種 ＋ 中学校二種（保健体育）
または
中学校一種（保健体育） ＋ 小学校二種

学生が近年取得したその他の免許

高等学校一種（保健体育） など

コース紹介詳細は Webページへ

生涯にわたる心身の健康を築き、明るい未来を切り拓く

人間の知的能力は知育のみで育まれるわけではなく、健康な身体と健全な思考を育む保健体育を土台に創出されます。保健体育系では、世の中を生き抜く頑健かつ柔軟な心身を標榜しつながら、人文・自然科学と体育の融合に基づく教育体制を目指しています。そして日々健やかな暮らしを送る見識を育む学校教育の担い手を輩出すべく、スポーツに打ち込みながら、体育・スポーツ学や体育科教育学など各分野の基礎を学習する環境を揃えました。加えて保健体育系は、他教科・他の学問領域にも通ずる身体運動の諸科学について幅広い見識を研鑽できる組織でもあります。こうした教育・研究環境のもと、学生は頭と身体の双方に汗をかきながら、日々理性と野性を研ぎ究めています。



● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

保健体育系では、体操、陸上、水泳、球技などの実技科目、運動学、体育心理学、運動生理学、体育社会学、衛生学などの講義科目をもとに、将来、小学校や中学・高等学校において体育及び保健体育の教育に従事する専門的な資質を備えた教員の育成を行っています。さらに保健体育科教育法や中等保健体育科教育法などといった教職科目において、保健体育科教育における教材研究、授業実践などについて研鑽を深めていきます。

●主な授業科目

1年次	2年次	3年次	4年次
体操	運動学	ダンス・体つくり運動	球技
陸上	衛生学	栄養学	運動学演習
水泳	運動生理学	体育原理	運動生理学演習
武道	学校保健管理	体育社会学	体育心理学演習
解剖・人体生理学	保健体育科教育法	体育心理学	卒業論文
	中等体育科教育法	体育経営管理学	

中等保健体育科教育法Ⅱ



中等保健体育科教育法Ⅱは、主に３年次に教育実習を控えている2年生を対象に模擬授業を中心に行っています。学生自身が教師役を経験することで、指導案の作成方法や授業中の指導方法などを身につけることを目的としています。また、生徒役を経験することで、その授業の優れた点だけでなく改善点などについてまとめ、より良い授業を作る視点も養います。

運動生理学演習



運動生理学や神経生理学的な実験実習を教員の指導の下で一通り経験し、その後に自ら実験を企画・実施して、結果をまとめるといった体験をします。これにより、日頃のスポーツ・体育活動で浮かんだ疑問を科学的に調べる方法論を学びます。実験機器を実際に扱ってデータを取得しますので、卒業研究の模擬体験ともなります。

MESSAGE

学生メッセージ ― 4年生 R. I. さん（韮崎高校出身）

共に学び共に泣き、共に笑った４年間



運動が好きでその楽しさを子ども達にも伝えたいという同じ志をもった個性豊かな人たちと出会うことができます。時には辛いこと苦しいことも皆で切磋琢磨し、乗り越え、共に成長していけるかけがえのない仲間となりました。ここで出会えた仲間との思い出は、将来の自分を笑顔にしてくれる大切な時間となるでしょう。

教員メッセージ ― 加藤朋之 先生（専門分野：スポーツ社会学）

立ち止まるな、新たな知の世界がまっている。常識は過去のもの。



保健体育には詩学があります。保健体育には哲学があります。走ること、投げること、叫ぶこと、笑うこと、人の身体は本当に不思議のかたまりです。保健体育を学ぶということは、まさにこの不思議と対峙することに他なりません。保健体育の教員になるということは、この不思議に立ち向かうことに他なりません。

研究紹介❶



木島 章文

～研究テーマ～
知覚運動制御ならびに学習

木島 章文　Kijima Akifumi
2011年4月より教育人間科学部准教授、2016年4月より教育学部教授、主な担当科目は体育心理学と運動学。研究専門領域は知覚運動制御と学習に関するバイオメカニクス的研究。男子バレーボール部顧問。

自然環境やスポーツ環境に馴染む、頭と身体の動きを解明する

環境の変化に柔軟に応答するヒトの心身の仕組みを研究しています。山梨県には自然豊かな屋外実験の場があり、本学には高精度な動作解析器を備えた身体運動科学の研究環境があります。その中で博士学生の越水悠介君（写真：本学教育学部保健体育科ならびに甲府南高等学校卒）は登山時の手足の協調運動を解析し、効率的な歩行メカニズムの解明に挑戦しています。具体的には、ストックの使用が心身への負担を軽減する効果を捉え、様々な年齢層が安全で快適な登山を楽しめる指導法の開発を目指しています。被験者として写っている学部生の春日虎太郎君（本学バレーボール部，岡谷工業高校卒）を始め、多くの学部生もスポーツ活動と研究の両輪でがんばっています。











研究紹介❷



堀口 文

～研究テーマ～
大学生の運動習慣形成プログラムの開発

堀口 文　Horiguchi Aya
筑波大学体育専門学群を卒業し、同大学大学院人間総合科学研究科を修了。大学生の一般教養としての体育や運動習慣形成をテーマに研究に取り組んでいる。一方で、ラート競技の現役日本代表、世界チャンピオンの経歴をもつ。

楽しみながら運動を習慣化しよう！

大学生の生活習慣は他の年代と比べて著しく悪化することや、大学期に確立された身体活動パターンは長期にわたって維持されることがわかっています。健康な人生を過ごしていくためには、大学生のタイミングで運動習慣を身につける経験が大切です。こういった背景から、教材としてGボールやソフトギムニクなどを活用し、特に運動が苦手な学生が楽しみながら運動習慣を身につけられるプログラムの開発を目指して研究を進めています。

また、運動の「コツ」や「感覚」という、非常に抽象的な概念を言語化していくスポーツ運動学という分野で、自身のラート競技のパフォーマンスについても研究しています。例えば自分にしかできない技のコツを言語化することで、技の再現性を高め、コーチングにも役立てています。



Gボールを用いた運動プログラム



ラート競技（Photo by Bart Treuren）

保健体育系の紹介



越水悠介 さん
大学院博士課程在学
山梨大学教育学部・甲府南高校卒

写真の新入生歓迎ハイクなど先輩や教員と交流しながら学べる機会が豊富です。また季節や自然を活かした実習など身体を動かして学ぶ環境が整っています。理論と実践の両方を深めつつ、学校教育の枠を超えて運動を通じた新たな可能性を見出すことができます。スポーツ科学や健康づくりなど、幅広い分野への視野が広がることも、保健体育系の魅力です。

松嶋健介 さん
大学院修士課程在学
山梨大学教育学部・甲府西高校卒

保健体育科は皆で身体を動かすことが多いため、教員や先輩との距離も近く、個別の相談やアドバイスを受けやすい環境が整っていることも特徴です。また、運動生理学やスポーツ心理学などの専門科目を通じて、競技力向上や健康づくりに関する科学的な知識も深めることができます。研究活動にも力を入れており、自分の興味のあるテーマを探求できるのも大きな魅力です。教員を目指す人はもちろん、運動に関する研究ができる理想的な環境がここにあります！

やまなし小学校教育コース

取得免許（卒業要件）

小学校一種 ＋ 特別支援学校一種
または
小学校一種 ＋ 中学校二種

10教科（国語、英語、社会、家庭、数学、理科、技術、音楽、美術、保健体育）から一つを選びます。

コース紹介詳細は Webページへ

山梨県内外の教育課題について広い視野から探究する

第一に、次代の山梨県の小学校教育を担う教員を養成すべく、山梨県教育委員会や教職大学院、附属学校などと連携を図り、山梨県内の教育課題について実践的に学び、その実践的な知識が学術的にどのような意味があるのか、国内外の教育課題とどのように連動しているのか、深く検討します。第二に、デジタル化やグローバル化といった社会の大きな流れに対して教員として対応する力を身につけるとともに、批判的に考えられる態度を身につけます。第三に、学んだ成果を他者に伝えることが重視され、レポートやプレゼンテーションの機会が頻繁に用意されます。



● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

教育現場を肌で感じる実践中心の授業、小学生のこころとからだの発達に関する理論中心の授業、山梨県内外の教育をとりまく最先端の課題を探究する授業、実践と理論をつなぐためのデータリテラシーとICTスキルに関する授業など、現代の教育に対して多様な観点から学びます。1〜2年次は主として教員免許に必要な授業を履修することになるので、コースの専門科目の多くは3〜4年次に用意されています。

●主な授業科目

1年次	2年次	3年次	4年次
教育フィールド体験Ⅰ 子どもの育ちを支える校種間連携	デジタル教材の開発 小学校における多文化共生 海外学校観察実習Ⅰ 地域素材の教材化	学校外体験実習 教育データの分析法 小学生のこころの発達	教育フィールド体験Ⅱ 小学校教師論 山梨の教育事情 小学生の運動発達 ゼミナール 卒業論文

教育フィールド体験Ⅰ（附属小学校）



本コースの専門科目で、学生の皆さんが最初に出会う授業です。この授業では、実際に小学校へお邪魔して、教育現場における教師ー児童の関わりと児童同士の関わりを観察します。この実地体験を実りあるものにするため、「こころとからだ」の発達の視点を学び、体験から得た学びを理論的に位置づけます。

入学前教育から学部入門ゼミへの接続



入学前教育では、特定のテーマに関するレポートを書きます。入学後の学部入門ゼミで、レポートの書き方に関するいくつかのルールを学びながら、入学前教育で提出した自身のレポートの推敲をします。この一連の作業でレポート執筆に必要なスキルを実践的に学びます。

MESSAGE

学生メッセージ ― 2年生 K. I. さん（甲府東高校出身）

学習から学修へ、同じ夢を持つ仲間と学ぶ日々を過ごしませんか



本コースは小学校教育に特化した専門科目を通してより具体的に指導法を学べる場です。観察して発表するという機会が多いため、仲間との視点の違いや多様な考えに触れることができ、何より実用的な学びを得ることができます。小学校教員を目指す人にはこれ以上ない環境です。仲間と先輩と、ぜひ一緒に楽しく学びませんか。

教員メッセージ ― 田中健史朗 先生（専門分野：カウンセリング心理学）

小学校教育の「当たり前」を疑い、本質と出会う！



宿題を出すことを法律で禁止している国があります。悪影響があると考えるからです。異なる世界を知ることで、宿題の意味を深く考えることができます。本コースには、得意な教科が異なる学生が集まります。多様な視点から小学校教育の「当たり前」を疑い、本当に大切なことは何かを理解した山梨県の小学校教員を目指しましょう！

研究紹介❶

小野田亮介



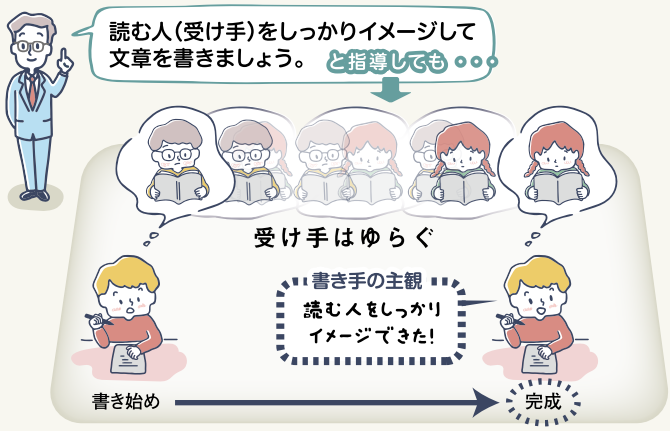
～研究テーマ～
情報発信の心理学

小野田 亮介　Onoda Ryosuke
勉強が大嫌いな高校生、やる気のない浪人生、よく遊ぶ大学生、好奇心に身を任せる大学院生を経て現職。専門は教育心理学、教育工学。研究の面白さを学生と共有することと、昆虫採集が好き。

そのメッセージ、誰に向けている？

みなさんは文章を書いたり、何かについて話したりするとき，メッセージの「受け手」を意識していますか？ 実は、受け手の意識はとても難しく、漠然とした受け手しかイメージできなかったり、メッセージを作るプロセスで受け手像がゆらいだりすることが多々あります。

受け手への意識は適切な情報の選択と提示において不可欠です。もし、受け手への意識が不十分であれば、「意見書を出したのに納得してもらえない」、「笑ってもらえると思ったSNSの投稿が炎上する」など、予想外のネガティブな結果がもたらされるかもしれません。どのように受け手を想定すれば，効果的で安全な情報発信ができるのでしょうか。学生や学校の先生方と議論しながら、こうした問題への解決策を考えています。



基礎的な問い
・受け手のゆらぎ現象（audience fluctuations）はなぜ生起するのか？
・受け手がゆらぐことは、情報発信において悪いことなのか？

実践的な問い
・適切な情報発信のためには、どのような受け手の想定を促せば良い？
・そのための具体的な指導方法は？

研究紹介❷

大野歩



～研究テーマ～
スローペダゴジー

大野 歩　Ohno Ayumi
小1の時に科学博物館で出会った「アマゾンの干し首」に魅入られて「博物館のおねえさん」を志し、気がつけば現職。専門は保育学・幼児教育学。乳幼児の観察と、米粉のパン・お菓子作りが好き。

0歳から始まる学びと大人のかかわりを紡ぎなおそう！

現在、多くの国々では、「保育」を「乳幼児期の教育」へ転換して、あらゆる子どもへ公平に提供しようとする政策が展開されています。その過程で保育制度と学校教育制度をつなげようとする際に、双方の接続面で実践の方法や形態が融合して変容する「保育の学校化」現象が起こり、時に問題視されます。

もちろん、「遊びを通して学ぶ」保育・幼児教育と「授業を通じて学ぶ」小学校教育では、考え方や方法が異なるかもしれません。けれども、子どもが「これ、なんだろう？」と心惹かれたものを追いかける姿は、年齢に関係なく通底しているのではないでしょうか。私は、そんな子どもたちを、多くの大人がゆっくり見取り、立場を超えて協力し支えあう制度や実践をつくりたいなと考えています。

保育所・幼稚園・こども園・小学校へ観察に出かけ、子どもたちと話しながら「楽しいこと」「悔しいこと」「悲しいこと」「面白いこと」などを教えてもらい、乳幼児期～児童期における探究の異同をさぐって、0ー7歳の連続した学びの実態をとらえていきます。



1歳児
ねえ、みて！ ボールがコロコロすると、なんかワクワクするの～
（ニュージーランドの保育所にて）



4・5歳児
え～、いっしょにやろうよ～、土に水を入れてどろどろにしたら、すっごく気持ちいいんだから！
（日本の幼稚園にて）



6歳児
あのさ、ぼくの好きなサッカーは「fotboll」って書くんだよ、ほら、かっこいいでしょ！
（スウェーデンの就学前クラスにて）

コースの紹介

自分の将来に、ぼんやりとでも「小学校の先生」というイメージが浮かんでくるそこのあなた、ぜひ本コースへ！

山梨大学は令和６年度より文科省「地域教員希望枠事業」（名称略）の選定大学として、教育委員会と連携・協働しながら、「やまなし小学校教育コース」を中心に、山梨県の小学校の先生を量的・質的に確保するための５年間の取組をはじめました。子どもが先生の魅力を感じ、経験を積み重ね、「新しい時代を子どもとともに生きる先生」に成長するための多様な支援を行います。



「先生になりたい」原石が「先生として子どもとともに生きる」貴石として輝く

やまなし小学校教育コースでは、山梨県内の教育現場における実務経験が豊富な「実務家教員」による高校生向け教育講座や入学前教育の開講など、高大接続の推進にも積極的に取り組んでいます。

「なりたい」（志望）から「なります」（決意）、そして、やまなしの先生になる（実現）

教職支援室

Teaching Support Office











教職支援室は教員をめざす学生を全力で応援します！

教職支援室では、学生が主体的に教職へのキャリアを積み重ねていけるように、進路に関する個人面談、教育ボランティア、地域学習アシスト等、学校現場での活動の企画・運営や、教員採用試験対策講座・個別指導、教職支援のための教採データの収集分析を行っています。**4つの領域**ごとにそれぞれの特色を生かし、また関連させながら、学生のみなさんの自主的な学びを尊重しつつ、教職に関する支援を行います。

4つの領域

教職支援領域

教職への意識喚起や採用に関する相談、教員採用試験対策まで幅広く支援！

1年次から卒業・修了後までを見据え、学部・大学院の教員、徽典会（同窓会組織）と連携しながら支援を展開しています。教員採用試験対策講座や教員採用試験説明会の企画・運営、教員採用試験に関する個別指導（志願書の検討、小論文指導、個人面接指導等）、個人面談による進路調査（1～3年生全員を対象）、教員採用試験合格体験記等の収集・情報提供などを行っています。

総個別指導回数 2251回
(2024.10～2025.9)

1人当たり 20回

学生カルテ・分析領域

教職キャリア・ポートフォリオ・システムが学生の自主学習をサポート！

スマートフォンで教員採用試験に関する様々な情報を収集し、自分の学習状況の確認や振り返りができる教職キャリア・ポートフォリオ・システム（通称：キャリポ）を運用し、教職を目指す学生の自主学習を支援しています。また、個に対応するきめ細かな支援を目指し、進路希望や学習履歴、教員採用試験結果、進路状況等の教職に関する調査を幅広く行い、分析も行っています。



教採対策を進めると…　⇨　アバターが成長！

教育ボランティア領域

学生が教育現場で子どもとふれあう「教育ボランティア活動」を支援！

学生と受入先との橋渡しをし、多様なボランティア活動が両者にとってプラスとなるように支援しています。また、学生運営委員会の自主運営により、教育ボランティア活動と学生との距離がぐっと身近になっています。受入先と学生のマッチング、ガイダンス・スタートセミナー・報告会の企画や運営、ガイダンスブックの作成、受入先訪問、教育ボランティアニュースの発行などを行っています。

教員採用試験に合格した 70.3%の学生は 教育ボランティアに参加しています

教育ボランティア参加者数 3507人（平成17年～令和7年度の実績(21年間)）

年間平均 167.0人

地域学習アシスト領域

教育ボランティア活動をベースに、その発展形となる新たな活動を展開！

令和元年度に教育ボランティア活動の発展形となる新たな活動として、地域学習アシストをスタートさせました。地域学習アシストとは、本学独自の取組で、学生・大学教員・学校が学校現場の課題を共有し、解決策を探るプロジェクトです。学校の方針に基づいた学生のアシスト活動がより良いものとなるように、学部生・教職大学院生と大学教員からなるチームカンファレンスが支援します。



キャリア・就職
Career

関東・東海地方を中心に、全国各地へ教員を輩出しています。

卒業生の活躍



K.O. さん
県内市立小学校
山梨

高校生へのメッセージ

高校生活の今しかない時間を思いきり楽しんでください。そして、全力で自分の夢を追いかけてください。チャレンジしたこと、ぶつかった壁はきっとみなさんの力になります。周りの人や自分の思いを大切にしながら、一歩ずつ進んでいってほしいです。

教員としての近況

やさしくて元気いっぱいな子どもたちと過ごす日々は、とても充実しています。悩むこともありますが、教員という職業でしか感じることのできない達成感はたくさんあります。これからも、子どもたちと一緒に学び続けていきたいです。



H. K. さん
県外私立幼稚園
神奈川

高校生へのメッセージ

高校時代を思い返すと、部活も勉強も夢に向かって必死に頑張ることのできた大切な日々だったと感じます。今だからこそできることを見つけて、素敵な高校生活にしてください。

教員としての近況

子どもの頃からの夢だった職業に就くことができ、子どもたちと共につくる生活を楽しんでいます。日々、どんなに小さなことでも子どもの成長を感じられることが喜びです。



T.M. さん
県外市立中学校
神奈川

高校生へのメッセージ

皆さん一人ひとりには“無限の可能性”があります。自分の可能性を信じて、どんどん挑戦してください。あとは、先を考えることはとても大切ですが、それと同じくらい“今”を楽しむことも大切です。それが未来の自分にとっても大きな糧となるはずです!

教員としての近況

２年生の担任と、1〜3年生の社会科を担当しています。現場に出てから学ぶことが多く悪戦苦闘している日々ですが、その分やりがいの多い仕事だと感じています。今は特に社会科教育について目下勉強中です。悩み、失敗しながらも成長していきたいと思います。



T. O. さん
県内特別支援学校
山梨

高校生へのメッセージ

皆さんには、なりたい自分がありますか? 勉強や部活に忙しい日々を過ごしていると思いますが、高校生のうちになりたい自分を思い描いて欲しいです。そして、色々な事に挑戦して、そこに近付いて下さい。何でもチャレンジは、若者の特権です。

教員としての近況

高等部1年生の担任をしています。生徒一人一人に合わせた支援や教材を工夫をするのが、特別支援学校教諭の醍醐味です。自分の作った教材を使って、笑顔で学習活動に取り組む生徒を見ると、日頃の疲れが吹き飛びます。そんな素敵な仕事を一緒にしませんか?

教員就職数とその他の進路

地域別教員就職数

		令和6年度	令和7年度
東北	宮城・福島	2人	
関東	茨城	1人	2人
	栃木		2人
	群馬	2人	
	埼玉	2人	2人
	千葉	1人	2人
	東京	3人	7人
	神奈川	4人	6人
	山梨	51人	53人
中部	長野	8人	3人
	静岡	7人	1人
	愛知	2人	
	岐阜		1人
近畿	大阪	2人	
	和歌山		1人
中国	岡山		1人
四国	徳島		1人
	愛媛		2人

校種別教員就職数

	令和6年度	令和7年度
幼稚園他	3人	0人
小学校	48人	52人
中学校	22人	23人
高等学校	4人	6人
特別支援学校	8人	3人

その他の進路

	令和6年度	令和7年度
企業等	19人	14人
公務員	5人	11人
保育士	0人	0人
進学(諸学校含む)	18人	25人
その他	3人	3人

近隣都県教員養成大学よりも高い教員就職率

令和6年度卒業生教員就職率75.2%

全国13/44位

※卒業生から進学者・保育士を除いた数で算出

主なその他の進路先(令和７年度)

企業・法人・起業等

学校法人駿台甲府小学校、学校法人帝京第三高等学校、 学校法人作新学院高等学校、国立大学法人山梨大学、 山梨中央銀行、 ゆうちょ銀行、ヒューマンアカデミー、ヴィジョナリーパワー、ローソン、マイセンド(大学発ベンチャー)、他

公務員

山梨県庁、山梨県学校事務、甲府市役所、富士吉田市役所、市川三郷町役場、宇都宮市役所、茅ヶ崎市役所

進学

山梨大学大学院教育学研究科教職大学院、山梨大学大学院医工農学総合教育部修士課程、東京学芸大学教職大学院、横浜国立大学教職大学院、静岡大学教職大学院、福井大学連合教職大学院、京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程、山梨大学特別支援教育履修証明プログラム

令和８年４月１日現在

教職大学院

Graduate School of Education

専門職である教師としての実践的力量を身につけよう！

山梨大学大学院　教育学研究科　教育実践創成専攻







2年間400時間の実習で学校現場に生きる即戦力を養成！現職教員の院生との協働で深い専門的知識を獲得！

「学生の皆さん！ 学校でベテラン教師と肩を並べて学習指導することに不安はないですか？」教職大学院では、卒業後の2年間で学校の様々な教育問題に対応できる即戦力を養成します。

特徴①【実習】県下の連携協力校（小・中・高・特支）で自分の研究を実証的に進めることができます。

特徴②【授業】大学の研究者教員と学校現場で豊富な経験をもつ実務家教員とのＴＴ（ティーム・ティーチング）で実施、理論と実践を一緒に学ぶことができます。

教育課題や学校マネジメントを学ぶ「教育実践開発コース」と小・中・高の教科教育を学ぶ「教科領域実践開発コース」の２つのコースが用意されています。

教育実践開発コース

地域や学校の教育課題に対応する力、学校改善をマネジメントする力などの総合的な実践力を有する教員を以下の3分野において養成します。

学校マネジメント分野

学校経営、学校安全と危機管理、学校改善などに関する力を有し、学校づくりをリードできる教員を養成します。

教師力育成分野

学校が抱える様々な問題を解決する力を有し、カリキュラム開発、教育臨床、異校種間の連携、地域との連携を実践する力を有する教員を養成します。

特別支援教育分野

障害のある子どもへの合理的配慮の提供のための建設的対話や個々の教育的ニーズに応じた適切な指導を実践する力を有し、同僚と協働するとともに医療や福祉等の関係機関との連携・協働を推進しながら、特別支援教育の先導的な役割を担うことのできる教員を養成します。

教科領域実践開発コース

小学校、中・高等学校の各教科において、質の高い教材研究をもとに授業を開発し、それを適切に評価して改善に役立てることができる教員を以下の２分野において養成します。

初等教科教育分野

小学校の各教科において、質の高い教材研究をもとに授業を開発し、それを適切に評価して改善に役立てることができる教員を養成します。

中等教科教育分野

中・高等学校の各教科において、質の高い教材研究をもとに授業を開発し、それを適切に評価して改善に役立てることができる教員を養成します。

院生メッセージ



S. R. さん
教科領域実践開発コース

教育に関する専門的な理論と実践。両方、徹底的に学ぶ。それが教師としての自信になる。

本教職大学院では、各教科の内容や学級経営などに関する専門的な理論等々を、講義を通して深く学修します。また、実習（年間200h実施）では、実習校の先生方の実践を、間近で、継続的に学んだり、自らも授業実践等を行ったりすることができます。理論も、実践もどちらも徹底的に学べるところが本学の魅力だと感じています。



A. M. さん
教科領域実践開発コース

理論と実践の往還によって自信をもった教育実践へ。教師としての専門性を高める場

教職大学院の授業は、発見の連続です。先生方の専門性の高い講義からは新たな気づきを得ることができました。理論的な学びはもちろん、年間200時間にも及ぶ連携協力校での教育実習という実践的な学びもあります。授業開発や実践研究に対する先生方のご指導は、特に魅力的で教育に関する知見が深まりました。理論と実践の往還を通して、自信をもった教育実践が可能となる環境がここには整っています。

入試情報 Admission Information

教育学部入試のポイント

教育学部では教員を目指す強い意志を持った人を求めています。
そのために、以下のような資質・能力を持つ人の受験を期待します。

- 子どもの育ちや学校教育について高い関心を持てる人
- 自ら深く学ぶために課題を見出すことができる人
- 課題の解決に向けた探求の努力を継続する意欲のある人
- 多様な考えの人たちと協力できるコミュニケーション能力や協調性を備えた人

学校推薦型選抜Ⅰ、一般選抜（前期・後期）で面接※があります。

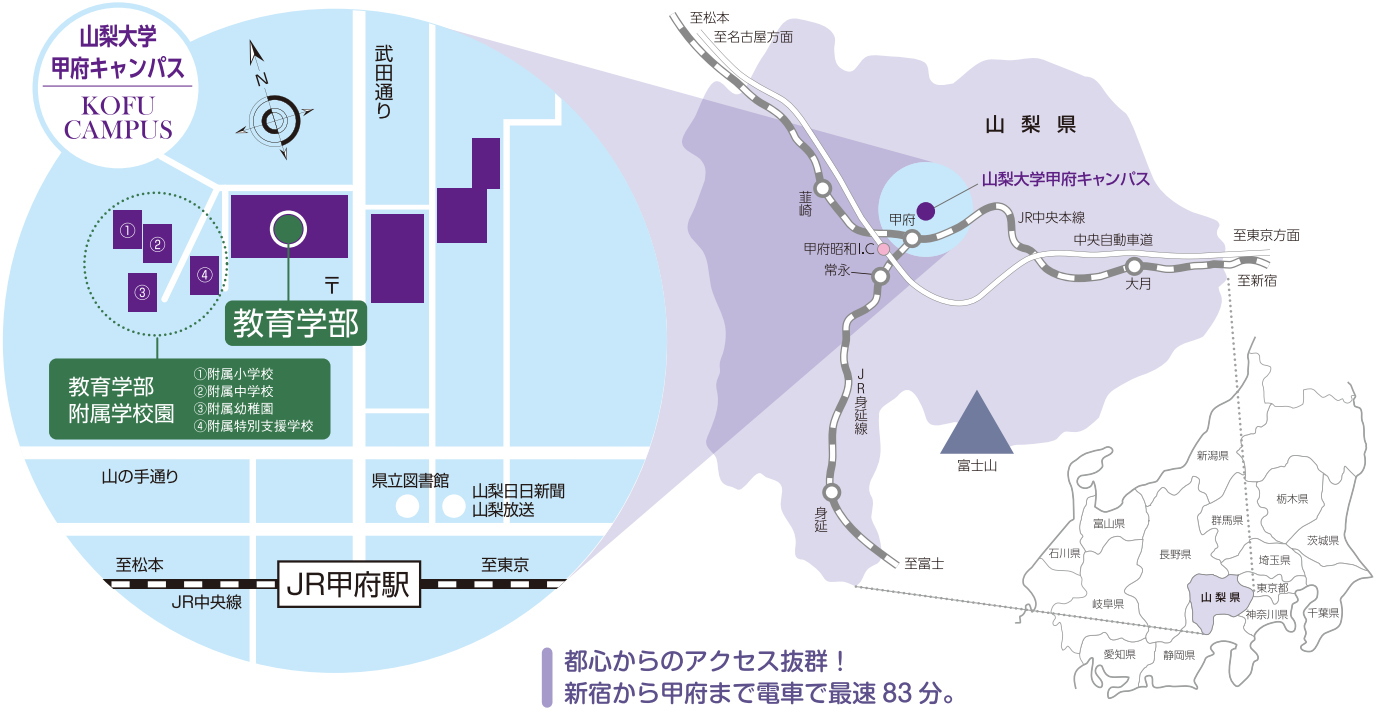
※技術教育系の専門・総合学科推薦入試では口頭試問
※実施形態は非公表

学校推薦型選抜Ⅰ

- 教科別推薦入試は **12のコース・系ごとに募集**
- 専門・総合学科推薦入試は **家政教育系・技術教育系で実施**
- やまなし小学校教育コースは **「山梨県の小学校教員志望者推薦入試」のみで募集**

アクセス Access

電車	車	バス
JR中央本線（甲府駅）下車後、徒歩で15分	中央自動車道（甲府昭和IC）下車後、車で20分	甲府駅北口２番バス乗り場より〈武田神社〉または〈積翠寺〉行、〈山梨大学〉下車



都心からのアクセス抜群！
新宿から甲府まで電車で最速 83 分。

国立大学法人
山梨大学 教育学部
〒400-8510 山梨県甲府市武田4丁目4番37号
TEL.055-220-8103（広報担当）
https://www.edu.yamanashi.ac.jp

2026年5月発行